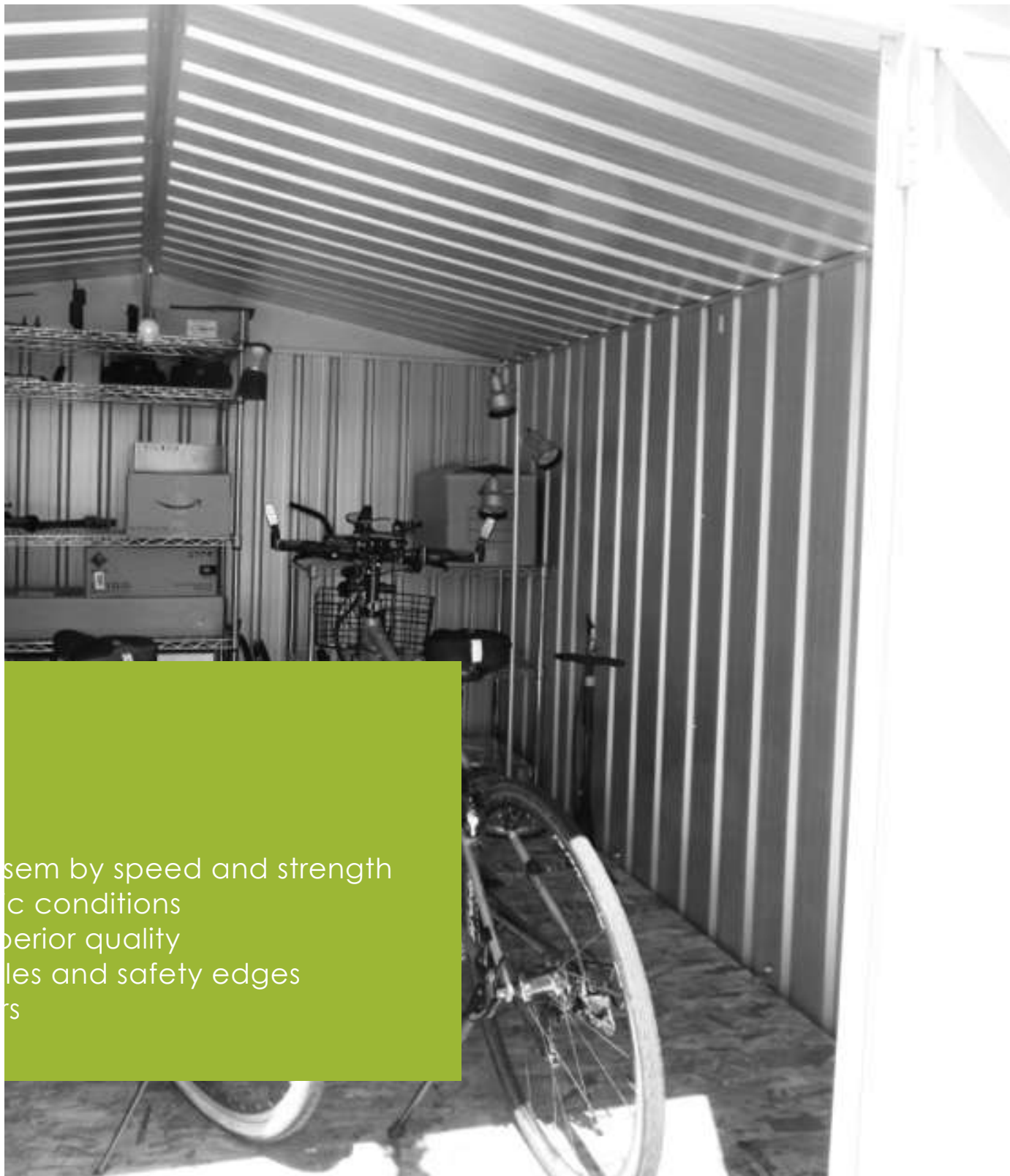


ユーロ物置®ハンドブック

EURO SHED HAND BOOK - 2021年版



sem by speed and strength
c conditions
perior quality
les and safety edges
rs



EURO SHED HAND BOOK

contents



※本書はユーロ物置®ワークショップシリーズの内容は含みません。ワークショップシリーズに関するお問い合わせはイープランまでお問い合わせください。

info@eeplan.co.jp

01

製品について

世界・風景・物置	04
ユーロ物置®と法律	06
結露と換気	08
風速の想定方法	10
設置場所の風速を知ろう	14
風速の計算例	16
耐雪強度とオプション	18
地面への定着方法	20

02

組立について

安全確保	22
工具について	24
2つのポイント	26
- 水平	
- 部材チェック	
ジョイント工程	30
主要金物の種類	32
穴の位置	34
- チャンネル	
- パネル	
START/前面パネル	40
DOOR/ドアパネル	44
ROOF/屋根パネル	46
基礎について	50
- コンクリート	
- 基礎寸法	
- 型枠	
- アンカーの打ち方	

03

製品一覧

バイシクルキューブ	54
- 1530SQ1	- 1523SQ1
フロントエントリー	56
- 3037F2	- 2322F1
- 3029F2	- 2314F1
- 3022F2	- 1514F1
- 3014F2	
スペースセーバー	58
- 3008K2	- 1508K1
- 2308K1	
サイドエントリー	60
- 3030GK2	- 2323GK2
- 3023GK2	- 2323GK1
- 3023GK1	- 2315GK1
- 3015GK2	- 1515GK1
- 3015GK1	
商品のお届けに関して	62
メーカーガイドライン	63



世界・風景・物置

写真プロジェクト名:福島復興支援住宅



世界で17万台、豪国内で5万台売れている物置

ユーロ物置®が大切にしていること。それは自然体。

- 1:見た目がシンプルで、周りの風景に溶け込むこと。
- 2:豪華さはいらない。スリムなポリシーを貫くこと。

ユーロ物置®はその意匠、構造、運搬、組立などすべての思想・発想が国産物置とは全く違います。そこには海外の物置に対する価値観の違いや、住宅建築や取り巻くルールの違い等を小さな物置を通してご理解いただける事でしょう。

「広い世界にフィットして長持ちする」のはなぜ？

壁が構造体になっており、支柱や梁に相当する部材を壁が補います。このパネルはわずか0.3mmの厚さですが、高張力鋼にジंकローム防錆加工を施すことによりメーカーは耐防錆30年保証を実現しています。この高張力鋼には独創の「SNAPTITE」を組み合わせる事で海外のライバル物置と比べて、ジョイント工程を1/3程度まで低減させています。各部品の品質に注目すれば、国産の物置は非常に優れた品質だと思えます。その一方でユーロ物置

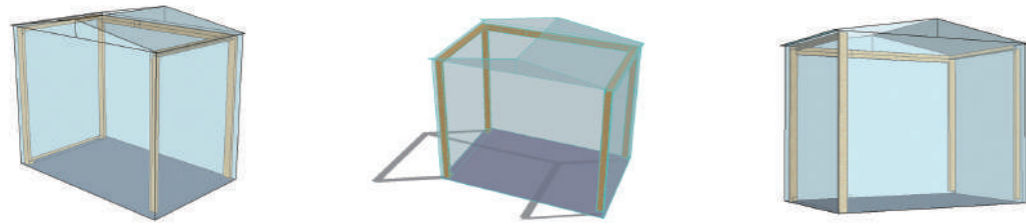
®はメインの高張力鋼板以外の部分は一般的な鉄で製造されており、錆が懸念されます。しかし、そういった「汎用品」の部品は世界中の金物屋さんやホームセンターで容易に入手できる部材なのです。つまり、モデルチェンジや製造中止などによる部品サプライ状況への心配が全くありません。簡単にその交換が出来る事、それに、その部品の交換作業が限りなく容易である事。この両者の特徴こそ、世界に生息するための必要条件としてユーロ物置®が身につけた持続可能性(Sustainable)なのです。

ユーロ物置®と法律 (建築基準法)

各国のレギュレーションを柔軟にクリアする

ユーロ物置®の構造部分は(豪)ブルースコープスチール社(BSL)の高張力鋼板にねじ止めする構造方式です。欧米や南アフリカ、南米など世界中で使われています。各国の国情に対する必要不可欠な事柄に対応できる製品の柔軟性の表れかもしれないですね。

日本では建築基準法があり、その法秩序で建築物が作られているのはご承知の通り。原則的には犬小屋でも地面に定着すれば「建築物」ですから、小さな物置でも建築基準法を大切にしたいところです。日本の法律に(材料と構造方法を)合わせる木造と定義します。



建築基準法施行令40条(仕様規定無し)で木造とした例(※1)

サステナブル

ユーロ物置®はパネルとチャンネルが特徴的ですが、相互を緊結するネジやドアのスライド金物などをホームセンターで販売されている汎用品でメンテナンスしたり、棚を作るために屋外から木ネジで穴を開けて棚の木支柱を固定するなど様々な利用方法があります。メーカーABSCOのポリシーとして、「本体パネルは30年錆びない」という保証がある限り、その他の部分が錆びてもすぐにどこでも買えることや交換作業がさほど難しくないとすれば、いつまでも新品のような輝きを保てる筈。つまり仮にメーカーで部品の製造がなくなっても購入した物置をずっと使用することができるので、部材調達に対する束縛から解放されます。4隅に柱(※2)を立てパネルをネジで緊結できるなど、こんな手軽な方法で日本の定めた法律を堂々とクリアできるのです。この柔軟性は、ユーロ物置®のシンプル&ナチュラルなデザインポリシーに見事に一致する事からしても、きっとこれは偶然の所産ではありません。世界に広がるユーロ物置®、そのDNAのなせる技と僕たちは信じています。

シンプルで単純な建築。厳格な日本に根付く事が出来るんです。流石です。面白いと思いませんか？

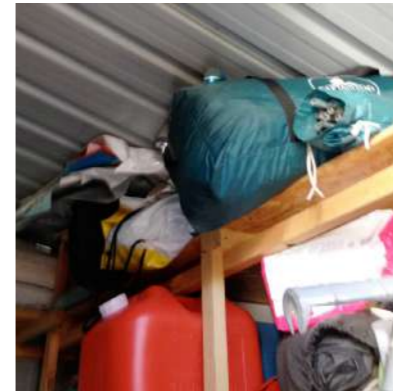
※1:10m²以下では確認申請が不要な事がありますが、全く別の法律で「10m²以下の物置は木構造の仕様規定外でもよい」と銘記された法律。
※2:木材を本製品(ユーロ物置®)に含みます。
※3:ABSCO社純正のスノーキットもJISではありません。実利はあっても法律に合致しませんのでご理解の上ご使用ください。もちろん木製スノーキットも準備しております。

施行令40条(仕様規定無しの木造)の具体例



屋内に角材で支柱のある棚を作った事例です。スノーキット(※3)はつけていないのですが、約1.0mの大雪をクリアしています。

(左写真:フロントエントリー3022F2)



天井まで届く木造の棚で施行令40条相当とした例

上の写真の屋内です。物置の屋内には自家製の木の棚と収納物があり、内側から屋根を支えています。

(左写真:フロントエントリー3022F2、屋内の木の棚)



耐雪積キットを設ける事で施行例40条相当とした例

バイクキューブ1530SQ1です。屋根が平らなタイプや片流れのデザイン(比べて、もともと雪には強い。)にはスノーキットはありません。そのため、このように2x4材で補強を作りました。北陸の重たい雪もクリアできます。

(左写真:屋内の木の棚)

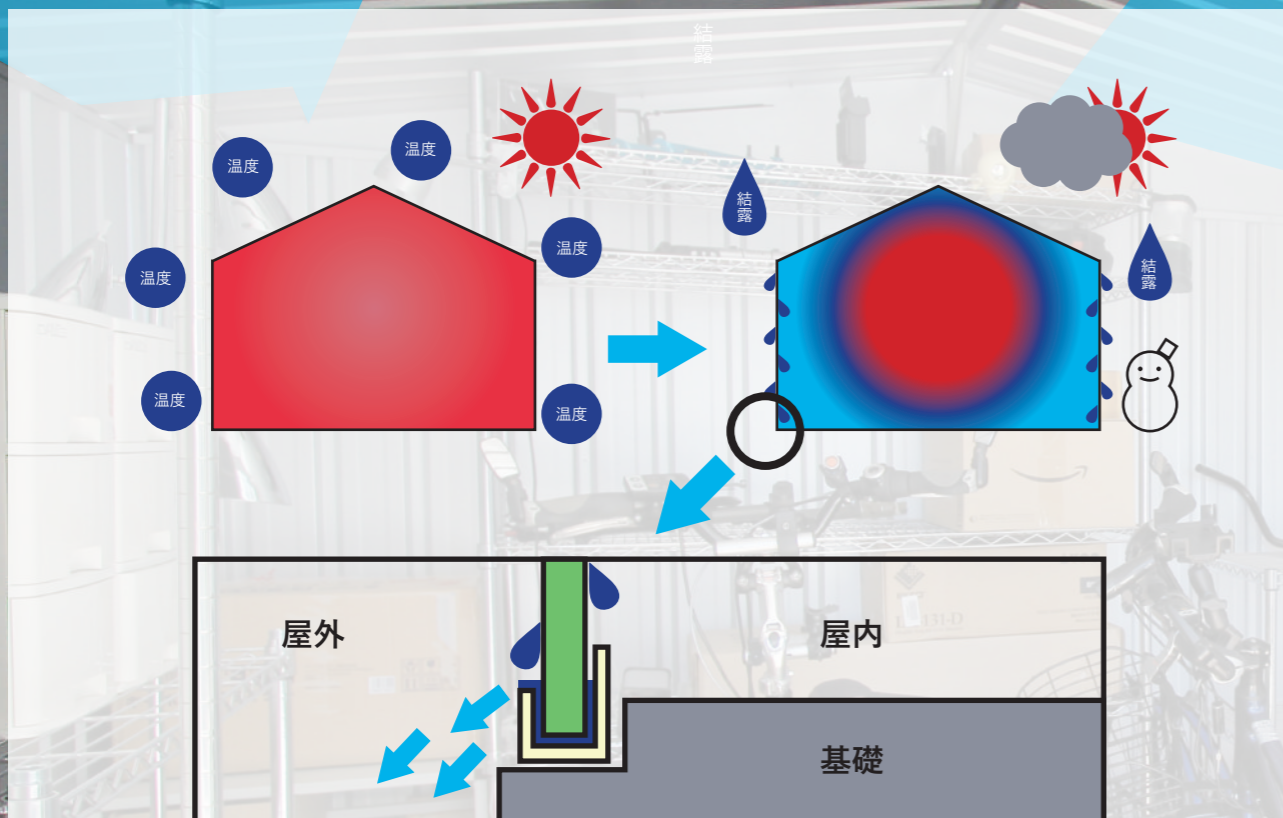
自分での耐雪対策

※ご注意

ドアは閉め切った状況をキープしてください。積雪量は各地方行政庁で確認できます。

積雪1.0m以上の地域では法律上も雪下ろしの作業が前提になります。

梁の強度計算は販売店にお問い合わせください。固定方法は慎重に。



結露

屋間、ユーロ物置®の中は気温が上がります。太陽が陰り外の気温が急激に下がると、空気中の水分が結露し、パネルに付着します。

付着した水分は、スチール製のパネルを伝い下部のチャンネルに流れます。チャンネルの垂直の辺は屋内の方が高く、屋外が低く出来ています。チャンネルの中に溜まった水分は、自然に屋外に流れていくので、物置の屋内に水分が溜まることはありません。

また、パネルにはジंकローム錆止めが塗布されておりますので、結露による水分が付着してもパネルの劣化の心配もありません。

換気

ユーロ物置®にはパネルとパネルの直交する部分などには隙間があります。この隙間は通気性を向上させます。加えて、高張力鋼板の凹凸は強度確保以外に屋内外の自然換気用開口を確保しています。(写真は3029F2シルバー+木製床DIYです。)

基本的に、この隙間から雨水等が侵入したケースは過去に報告されていませんが、不安であれば屋根やパネル部分にコーキングをしてもOK。ただし、基礎と本体部分の接触部分にはコーキングを行わない様メーカーからの案内が出ておりますのでご注意ください。(結露の図参照:屋内の水の流れを阻害するなど)

日本とオーストラリアの耐風に於ける比較表と係数の査定

風速の想定方法

オーストラリアの製品であるユーロ物置®を日本で使用する場合、耐風性はどのようになるのでしょうか。耐風性については性能表示(W41m/sec)はあるものの、設置場所の状態により大きく異なります。ここではユーロ物置®を日本で使用する場合の台風性能の計算の仕方や概要を説明していきます。

ユーロ物置®には支柱や梁がありません。高張力鋼を使用したパネルがその構造の役目を果たしている為、国産の物置と比較し耐風力に劣るのではないかと疑問が生まれます。そこで、メーカーの耐風性能表示からオーストラリアでは実際どのように設置条件を見出しているのか?その方法を日本に置き換える事ができないのか?といった疑問の答えを探すことにしました。

オーストラリアの場合と日本の場合で一致しても良さそうな部分の係数を1.0として、その他の係数はオーストラリアの各種状況下の設計風速を係数に置き換えて考えてみることで、実利的に活用できるように試みました。ただし、この内容はあくまでもご参考の範囲にとどめ、ご自身の責任で設置及び維持管理について慎重にご検討ください。

豪:風速を周知させる先進のAS(オーストラリアスタンダード)

サイクロンエリア、ノンサイクロンエリアという地域区分がされており、各地域での標準風速が提供されています。建築や工作物には各地域の標準風速に加え、地表の粗度・地勢・風の遮蔽度など様々な要素が複合的に作用します(※)。ユーロ物置®の性能表示風速41m/secを下回る地域には設置が可能とされています。加えて、風速41m/secを上回る場合でも各地域の標準風速・地表の粗度・地勢・風の遮蔽度のもと、風速41m/sec以下と考えられる設置場所に設置が可能と考えられています。

日本:大量のデータを基にした風速Vo(建築基準法)

日本では建築基準法で超大なデータを基にして作成された標準風速Voがあります。このVoは風速30~43m/secの風速帯での10分間の平均値とされ、その標準風速を上回る確率は1/50とされています。この数値を基に各種係数と建物の形状係数を乗算する事で建物が耐え得る水平力を計算して設計します。しかしながら各地域の標準風速・地表の粗度・地勢・風の遮蔽度についての計算上の定義は高層建築も一元的に含まれていて、求める小規模で低層な物置についての検討が困難です。

オーストラリアスタンダードを利用してみます。

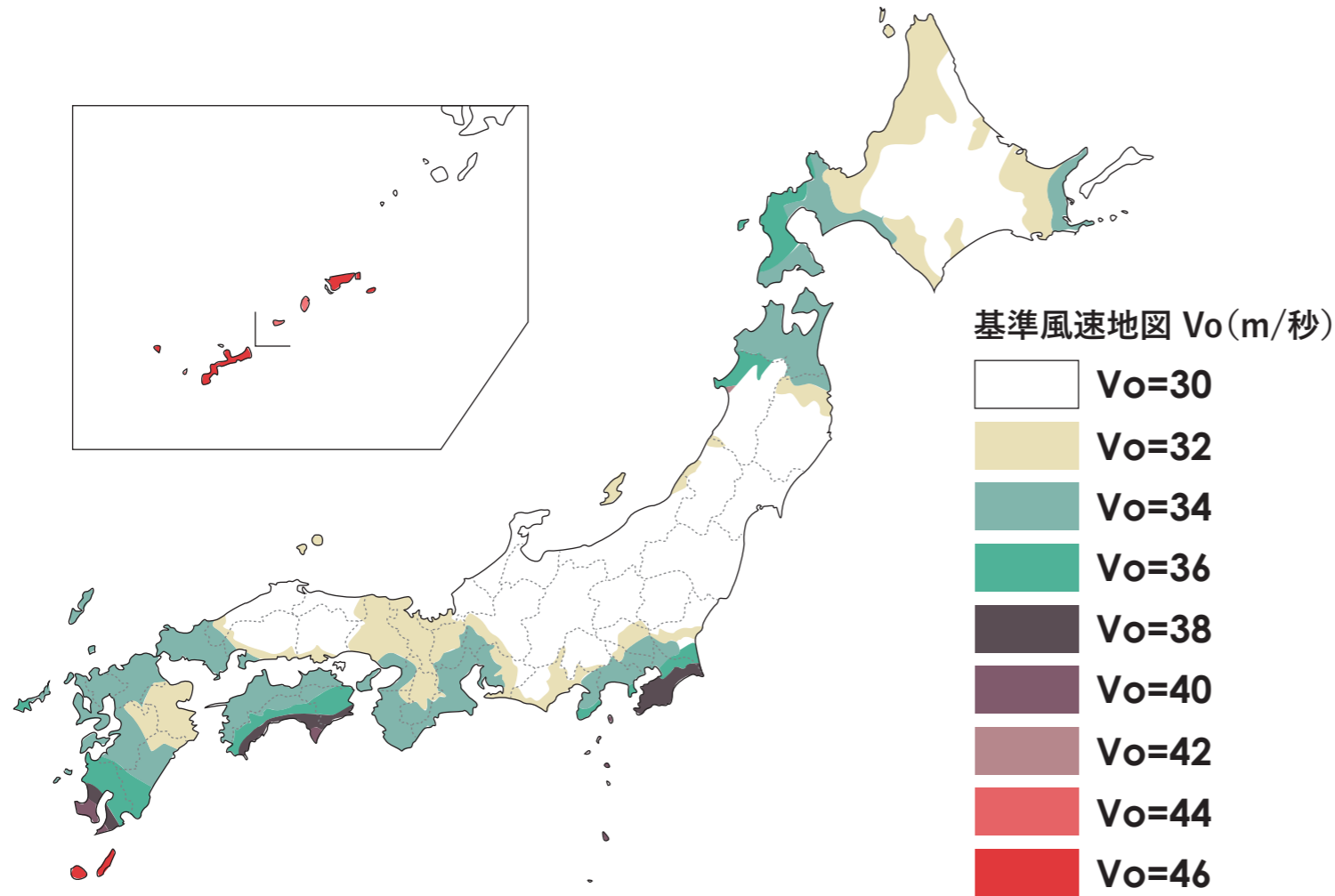
建築基準法では風速を多様な建物の形状に対する水平力を計算するのですが、ここでは水平力の計算を不要とし、風速での性能が表示されているため、ストレートな設置状況の検討査定を可能としています。

(※)ワークショップシリーズは性能表示風速33m/secです。イープランにご相談ください。

	日本 (建築基準法施行令87条同告示1454)	オーストラリア(AS/NES1170,2:2002)		
地域分類と標準風速	建築基準法施行令87条Vo:その地方における過去の台風の記録に基づく風害の程度その他の風の性状に応じて30m毎秒から46m毎秒までの範囲内において国土交通大臣が定める風速(単位m/s)	特徴ある地域を4域に分類		
		風速のランクを6ランクに分類		
瞬間最大風速	$V_{ex} \times 1.6$ (1.6=ガスト係数2.5の平方根)	N/A		
地表の粗度	4段階あるも、高さ13m以下であれば全域Terrain3に相当	Terrain Category (地表粗度)		係数
		Terrain 1	10km四方に建物もなくほとんどの障害物のない地形で、不完全に草で覆われた平原が10km四方はある区域。	N/A
		Terrain 2	解放された草原、その高さとして10m以下の僅かな建築物等が存在する区域。	1.52
		Terrain 2.5	数少ない樹木とまばらな建築物が存在する地域でCategory2と3の中間に位置する地域。	1.24
		Terrain 3	住宅が建物の間隔が密な区域で、郊外の住宅地のような状況。	1.0
地勢	N/A	Topographic Effect (傾斜係数)		係数
		T1	勾配6°以下の地形。すべての部分。	1.0
		T2	勾配6°から14°の地形でその頂部に至る部分T1とし、その頂部付近をT2とする。	1.3
		T3	勾配14°から27°の地形の登り始め部分はT1その他はT3。	1.5
遮蔽度	建築基準法施行令87条	Shelding Factor (遮蔽係数)		係数
		FS (Full Shield)	少なくとも2列の住宅やその類似する建物に取り囲まれていて風を遮蔽しているような状況。背の高い植物が生い茂った状況に置き換えても同等と見なせる。10棟以上の住宅や似たような建築物のある典型的な郊外に開発されている住宅地であればFSと考えて差し支えない。	0.75
		PS (Partial Shield)	当該建物の風上には少なくとも2~3棟の住宅、物置や樹木が存在する状況。例えば耕作地や生い茂った樹木のある公園。	1.0
		NS (No Shield)	風上に於いて、1haあたりに2.5棟程度のみの住宅や類似する建物が存在する状況ではシールドは存在し得ない。例えば川辺や海辺、飛行場や樹木のない公園に接する最初の2列の住宅。	1.5

設置場所の風速を知ろう。Vo値を確認する。【建築基準法施行令87条-2】

告示1454の各地域のVo一覧表を参照する、あるいは地方行政庁で確認しましょう。



実際に作用する風速の計算例 0.69Voで地表近くの風速として査定できる

地域例	Vo (m/sec) × Er (0.69)	建物に実際に作用する風速
福島・新潟・長野	30 × 0.69 =	20.07 m/sec
滋賀・京都・大分・佐渡島	32 × 0.69 =	22.08 m/sec
愛媛・三重・宮崎	34 × 0.69 =	23.46 m/sec
徳島・鹿児島	36 × 0.69 =	24.84 m/sec
房総半島	44 × 0.69 =	30.36 m/sec
種子島・沖縄	46 × 0.69 =	31.74 m/sec

各地域の標準風速

日本ではVoを都道府県や市町村別で作っています。オーストラリアでは海岸に沿った地方(内陸へ100km程度)と内陸部分などの地域を4種類に区分しています

- REGION (地域) A
- REGION (地域) B
- REGION (地域) C
- REGION (地域) D



地域A1-A5,B1	地域CとD	風速m/sec	
N1	N/A	W28	OK
N2	N/A	W33	OK
N3	C1(サイクロン地域)	W41	OK
N4	C2(サイクロン地域)	W50	N/A
N5	C3(サイクロン地域)	W60	N/A

ドアを閉め切った状態でのユーロ物置®の耐風速(※メーカー示唆コンクリート床に固定)。

※Australian Standard(AS4055-1992)による

※オーストラリア(Australian Standard AS/NZ 170,2:2002)での概算風速の査定に使われている方法を参考にしています。

用語集

※Vo: 確率は1/50ですが、この確率を計算すると30年間のうち45%は標準風速をオーバーする事になります。

※Er: 建築基準法施行令87条による、建物高さ方向に於いての風速(風圧)の分布係数
 ※ガスト係数: 風速の変動に伴う建築物への影響度を表した係数(地表粗度区分と建築高さによる、地域や粗度区分)

設置場所の風速を知ろう - 設置場所状況の係数を確認する

S 風の遮蔽度 (Shielding AS-4055)

遮蔽度とは、通りから見た時に建物に対する遮蔽がどの程度あるのかを数値化したものです。図をご参照頂き、設置場所に一番近い図の係数を確認しましょう。



FS 係数 0.75
(0.5~1.0)



PS 係数 1.0



NS 係数 1.5

動画で計算方法をCheck



To 地勢の分類 (Topography AS-4055)

地勢とは、設置場所の地面の状態の事です。図をご参照頂き設置場所に一番近い図の係数を確認しましょう。



T1
係数 1.0

勾配6°以下の地形。すべての部分。



T2
係数 1.3

勾配6°から14°の地形でその頂部に至る部分T2とし、その頂部付近をT3とする。



T3
係数 1.5

勾配14°から27°の地形の登り始め部分はT1その他はT3

Te 地表の粗度係数 (Terrain AS-4055)

粗度とは、地図上から見た時の設置場所の密集地のことです。図をご参照頂き、設置場所に一番近い図の係数を確認しましょう。



CATEGORY 3
係数 1.0



CATEGORY 2.5
係数 1.24



CATEGORY 2
係数 1.52

$$Ver = 0.69V_o \cdot S \cdot T_o \cdot T_e$$

(実際に建物に作用する風速) Ver:30年以内のリスク確率45%

$$V_{max} = 1.6 \cdot \text{設計風速}$$

(リスクを減らす風速)

Ver(45%/30年)Vmaxから選定する

設計風速や最大瞬間風速がユーロ物置®の性能表示の

W41m/sec

を下回ればOK! (30年で風速を超える確率45%)

フェンスを設置した場合

風速×0.5 位まで下げられます。

(※0.5というのは建築基準法施行令87条-3)

・設計風速×0.5=フェンス設置時の設計風速

・最大瞬間風速×0.5=フェンス設置時の最大瞬間風速

【告示1454号】



日本国内では大まかに記せば多くの部分が分類3で、AS4055のCATEGORY3と同じランクと判断し、係数1と区分できます。その他はAS4055を参考とした風速表から係数を想定しました。

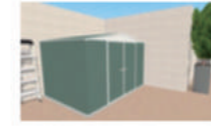
風速の計算例

Vo **Ver** **Vmax**

建物設計用の風速 実際に建物に作用する風速 =Ver×1.6
計算上の最大瞬間風速

Voのリスクは45%/30年なので、最大瞬間風速(Vmax)を計算で想定する方法をお伝えします。どちらの数値を使用するかはお客様で選びください。

囲い係数0.5



遮蔽に有効なフェンス
フェンス(囲い)を取り付けると風速×0.5くらいになります。(建築基準法施行令87条-3)

(To) **T1 (地勢の分類)** Vo=32m、Ver=34×0.69=22.08m/secの場合

地表粗度係数 (AS4055-1992) (Te)	風の遮蔽度 (AS4055-1992) (S)	Voに基づく判定			Vmaxによる判定		
		Ver (m/sec)	囲い係数 0.5	判定	Vmax (m/sec)	囲い係数 0.5	判定
Terrain 3	FS	16.6	-	<W41 (OK)	26.5	-	<W41 (OK)
	PS	22.1	-	<W41 (OK)	35.3	-	<W41 (OK)
	NS	33.1	-	<W41 (OK)	53.0	26.5	<W41 (OK)
Terrain 2.5	FS	25.5	-	<W41 (OK)	40.7	-	<W41 (OK)
	PS	34.0	-	<W41 (OK)	54.3	27.2	<W41 (OK)
	NS	50.9	25.5	<W41 (OK)	81.5	40.7	<W41 (OK)
Terrain 2	FS	38.3	-	<W41 (OK)	61.2	30.6	<W41 (OK)
	PS	51.0	25.5	<W41 (OK)	81.6	40.8	<W41 (OK)
	NS	76.5	38.3	<W41 (OK)	122.4	61.2	N/A

(To) **T2 (地勢の分類)** Vo=38m、Ver=38×0.69=26.22m/secの場合

地表粗度係数 (AS4055-1992) (Te)	風の遮蔽度 (AS4055-1992) (S)	Voに基づく判定			Vmaxによる判定		
		Ver (m/sec)	囲い係数 0.5	判定	Vmax (m/sec)	囲い係数 0.5	判定
Terrain 3	FS	19.7	-	<W41 (OK)	31.5	-	<W41 (OK)
	PS	26.2	-	<W41 (OK)	42.0	20.9	<W41 (OK)
	NS	39.3	-	<W41 (OK)	62.9	31.5	<W41 (OK)
Terrain 2.5	FS	30.2	-	<W41 (OK)	48.4	24.1	<W41 (OK)
	PS	40.3	-	<W41 (OK)	64.5	32.3	<W41 (OK)
	NS	60.5	30.2	<W41 (OK)	96.8	48.4	N/A
Terrain 2	FS	45.4	22.7	<W41 (OK)	72.7	36.3	<W41 (OK)
	PS	60.6	30.3	<W41 (OK)	96.9	48.5	N/A
	NS	90.9	45.4	N/A	145.4	72.7	N/A

参考及び引用資料

建築基準法施行令87条及び告示1454号
AS 4055-2012 Wind Loads for Housing:STANDARD by Standards Australia
※風圧力算定に関する考え方:独立行政法人建築研究所によります。

耐雪強度と補強オプション

各品番の耐雪強度は下記表をご覧ください。

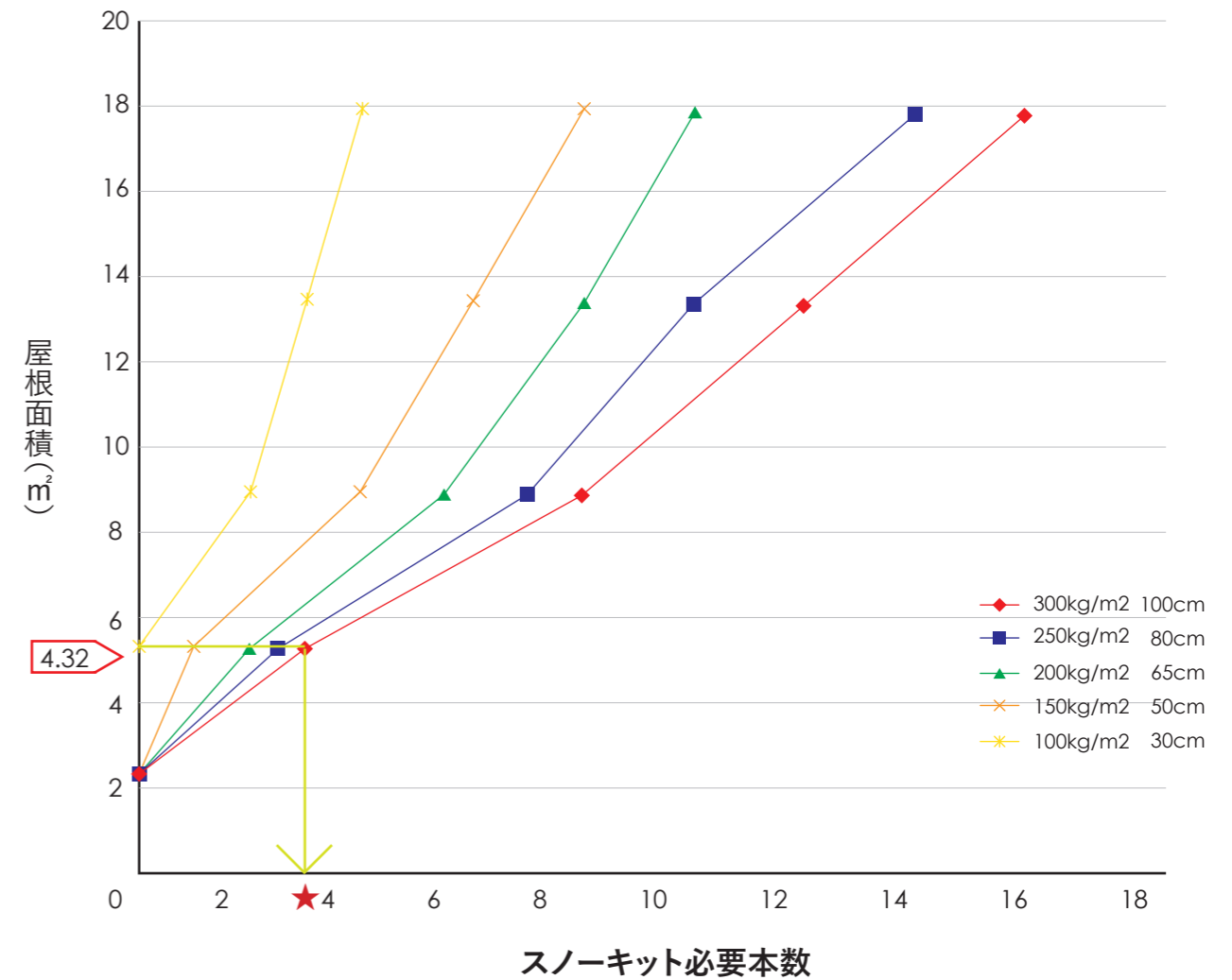
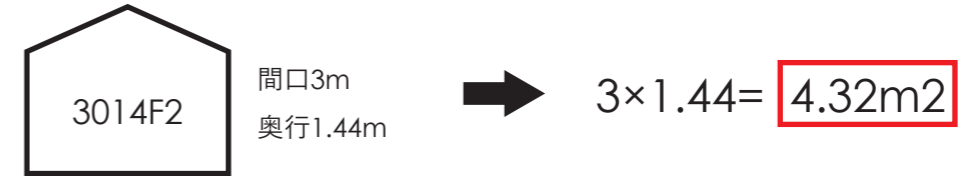
※積雪の量・重みにより耐雪強度は異なります。下記の表はあくまで目安としてご使用ください。尚、スノーキットを取り付けた場合でも積雪時にはこまめな雪下ろしをお願いしております。

スノーキット無し時の耐雪強度目安表(ドアを閉めた時の数値)

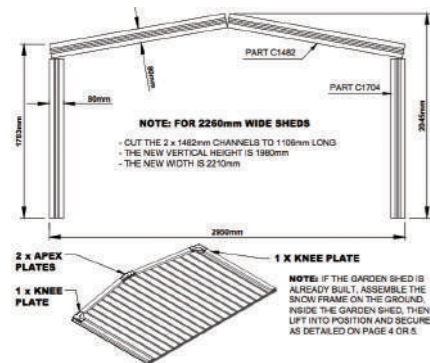
フロントエントリー		スペースセーバー		バイクキューブ	
1514F1	100cm	1508K1	100cm	1523SQ1	20cm
2314F1	50cm	2308K1	80cm	1530SQ1	20cm
2322F1	30cm	3008K2	50cm		
3014F2	40cm				
3022F2	24cm				
3029F2	20cm				
3037F2 <small>(スノーキット1本込みの場合)</small>	30cm				

屋根面積でみる300kg/m²までの耐雪強度とスノーキット必要本数

Q.3014F2で300kg(約100cm)の積雪に耐えるためにはスノーキットが何本必要?
→物置の面積を計算し、下図で合わせてみよう!



A.300kg(約100cm)の積雪に耐えるなら3本必要

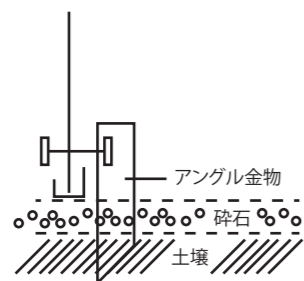


補強オプション

フロントエントリーシリーズには耐雪強度を上げる、オプションの「スノーキット」が取り付け可能です。後付けも可能です。注記:スノーキットはコンクリート床(基礎)に対して設置する事が必要で、マニュアル通り正しく組み立てる必要があります。
スペースセーバー、バイクキューブの補強については各販売店にお問い合わせください。

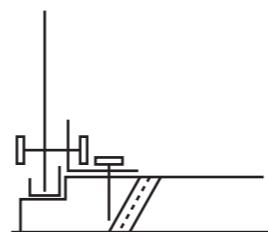
※法律を満足するには木造による梁を設ける事をおすすめします。
建築基準法ではJIS規格品が必要ですが、スノーキットはJIS規格品ではありません。

地面への定着方法



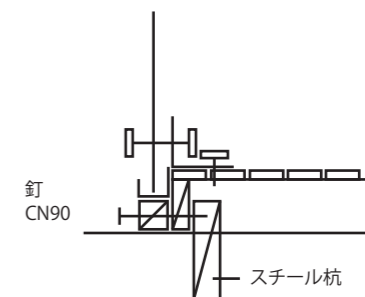
清潔な砕石を敷き込む

見方によれば、床は地面と言うのが普通。水平の場所であれば、地面に50cm程度の杭を打ち、物置のパネルに固定します。床部分が写真のように砕石なら、仮に屋内に水が侵入しても地面に染み込んで流れていくというメリットがあります。砕石を正しく敷設する事で雨水の侵入を防ぐ事が出来ます。



コンクリート基礎

コンクリート床であれば、自転車やバイク、農機具等の重量物も収納できます。すべてのユーロ物置®の品番に使用でき、特に大型の物置の床に適しています。コンクリート基礎のDIYにチャレンジする方もいらっしゃいますが、基本的には左官業者様や外構業者様に依頼する方が多いです。



木製床

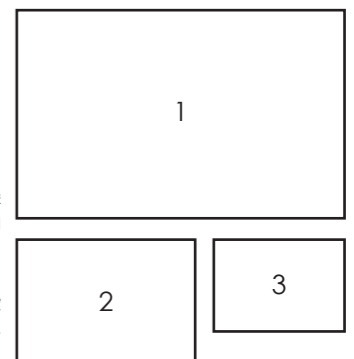
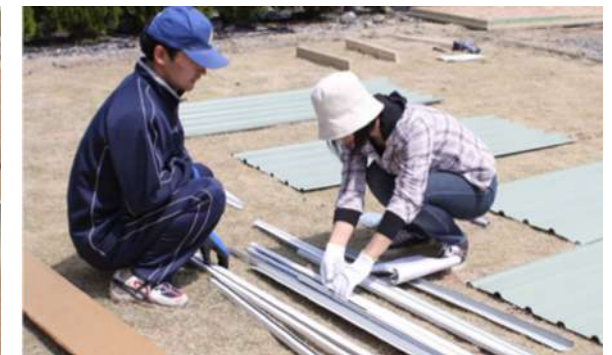
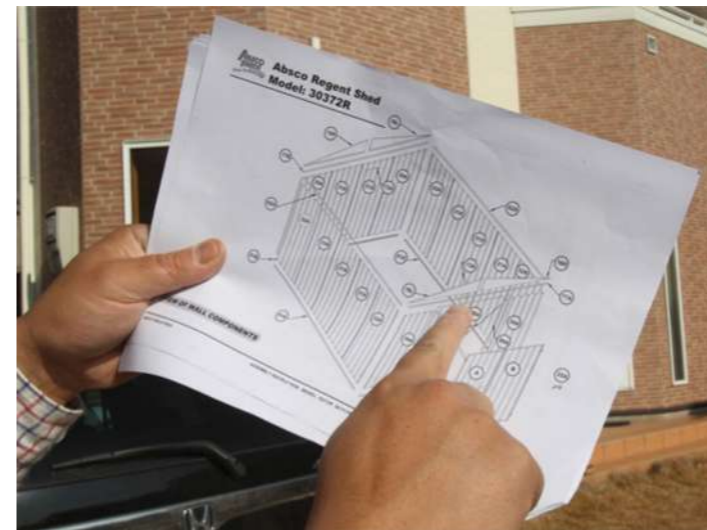
ACQ材(防腐加工済木材)を使用した木の床です。この加工で木材は100年以上腐らないと言われているので、外に直置きでご使用頂けます。この木材の周辺にスチール杭等を設けて地面にしっかり固定することをおすすめします。ご自身で組立をされる方も多です。小型～中型の物置に適しており、車のタイヤや灯油等一般的な収納物を入れることが出来ます。

安全確保

一番大切なことは「安全確保」です

ユーロ物置®を初めて組み立てる方は、必ず長袖の衣服と手袋を着用してください。ビスの取り付けの際は、ゴーグル等で目を保護されますようお願い致します。また、安全のために以下の●印の内容をお守りください。

- 少しでも風のある日には壁をを立ち上げないでください。
- 作業には2名以上の人員が必要です。
- 部材はスチールですので、すべての部材に鋭利な部分があります。手袋を着用して作業を行ってください。必ず安全な服装をしてから作業しましょう。
- 鉄板木ネジによる緊結作業やドリル穿孔作業には、安全のためゴーグルを使いましょう。
- 組み立て方法を十分理解してから組立を開始しましょう。
- 同梱されているマニュアルですべての部材を確認してから作業を行いましょう。
- 物置は水平な場所で組み立てる事が絶対条件です。スマートフォンの無料アプリケーション等で水平を確認してください。
- 物置と床は必ずアンカーでしっかり固定します。
- 風害や雪害の起こりにくい場所を選んで設置します。木製床の場合は、地面に木杭などを打ち込み、しっかり定着させてください。



1:作業時には長袖の衣服と手袋の着用を必ずお願いします。2:同梱の組立説明書でパーツがどこに配置されるのか確認するとスムーズに作業が行えます。3:部材を確認する際も手袋の着用をお願いします。

工具について

※ここに出ている道具がすべてではありませんのでご注意ください。詳細はユーロ物置®販売店にお問い合わせください。



1
脚立

屋根部分などの高い位置の作業に必要です。



2
手袋(軍手)

パネルは鋭利な部分もあります。作業時には必ず軍手の着用をお願いします。



3
電動ドライバー

ビス止めの作業をよりスムーズに行えます。ホームセンターでレンタルできるので、購入しなくても使用できます。



4
ドリルの刃

アンカーや扉部分のカンヌキの受け皿を取り付ける際には新しくドリルで穴を開けます。



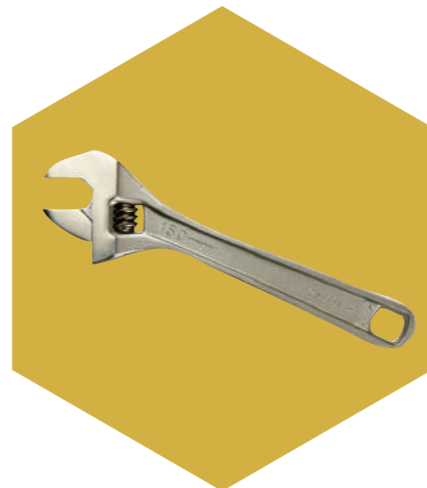
5
防護メガネ

ドリルで穴を開ける時には目を保護するために防護メガネを着用してください。ゴーグル等で代用してもOKです。



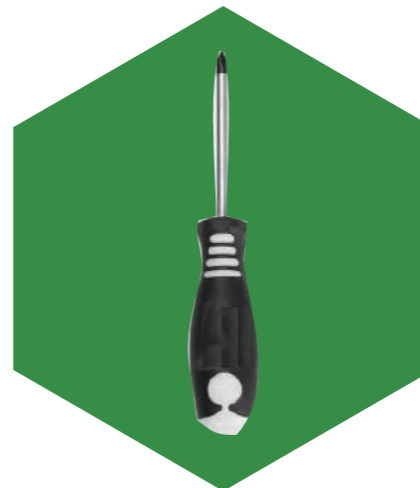
6
服装

作業時の服装は長袖長ズボンに足首などが出ない靴を着用してください。肌を守る服装をしましょう。



7
レンチ

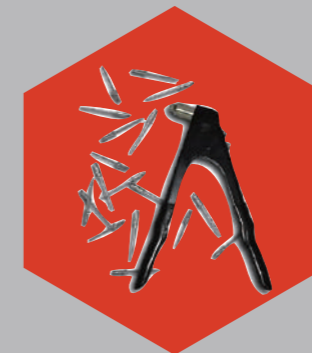
アンカーをしっかりと固定するためにレンチを使用します。



8
ドライバー

ビスのまじじめ時に使用します。本体の組立が終わったらビスをまじじめしていきましょう。

場合により必要な工具



9
リベッター

ドアの取り付けをリベットで行う場合に必要になるリベッター。カートからご購入可能です。



10
ハンマードリル

コンクリートで床を施工した時に必要です。ホームセンターでレンタルできます。10.5mmのドリルの刃もご用意ください。

2つのポイント

Point 1

**水平にこだわることで
綺麗な物置が完成します。**

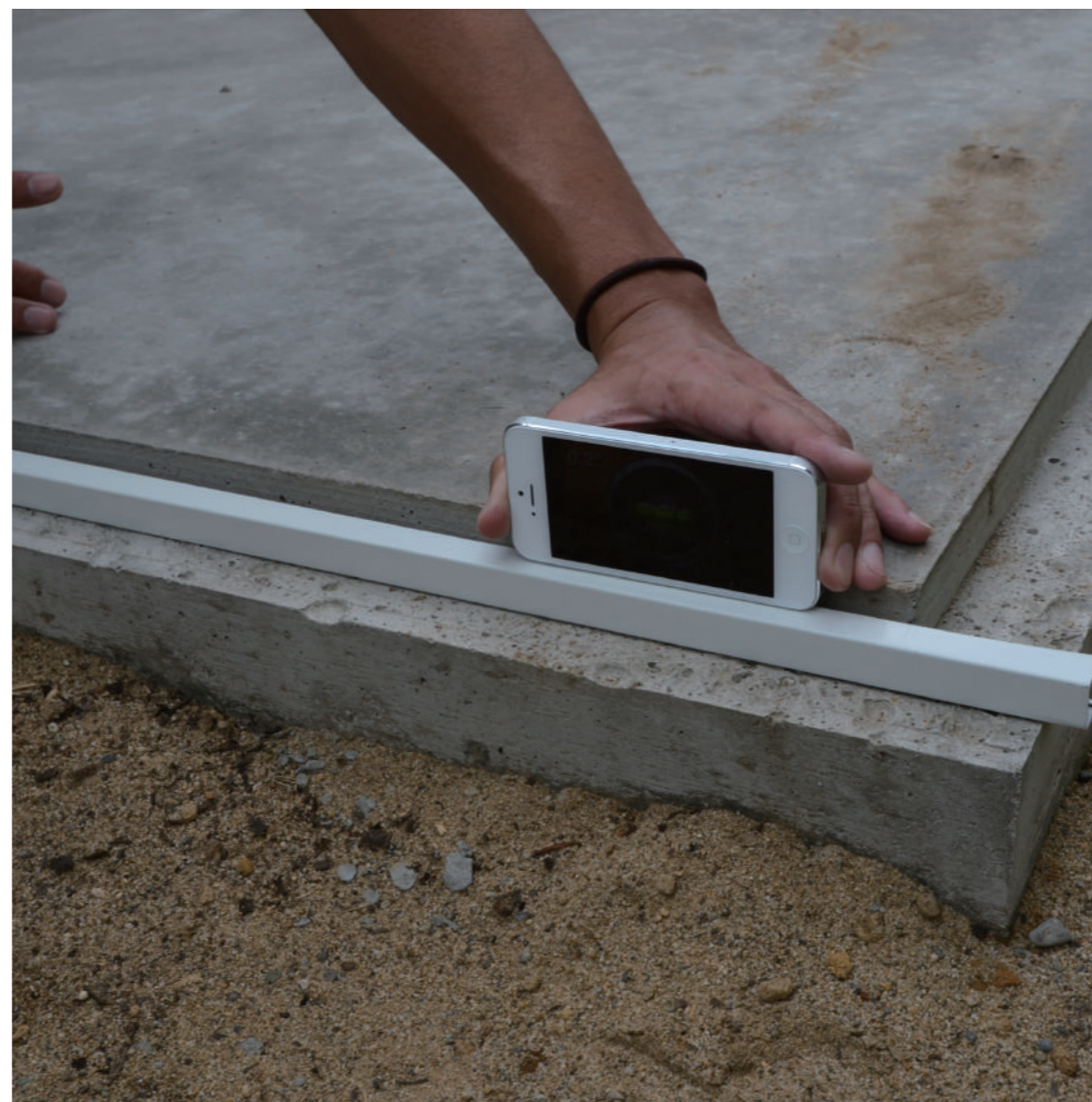
水平の確保ができないと、ビス穴の位置がずれてしまうなど実質組み立て不可能な状態になってしまいます。ビス穴(Pre-punched hole)のズレは最大で1.5mm程度は発生しますが、それ以上のズレが確認される場合は基礎の水平をご確認ください。水平はコンクリート基礎、木製床共に必ずご確認ください工程です。しかし、ここで基礎の水平をご確認いただければ、その後の組立てで物置がズレたり歪んだりすることはありません。何度も言います!水平が保たれていれば、綺麗な物置ができること、ほぼ間違いありません!

スマートフォンの 無料アプリケーションを使用

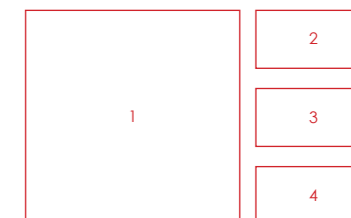
水平器をお持ちでない場合、スマートフォンの無料アプリケーションをおすすめします。アプリ検索で「水平器」「水準器」などと検索していただくと、無料のアプリケーションがヒットします。ぜひお試しください。

もちろん、ホームセンターや工具屋さんなどで水平器をお買い求めいただくこともできますが、店頭まで足を運ばなければならないことやお金が発生することを考えると少々手間ですので、アプリケーションをおすすめしています。

※工事業者さんにコンクリート床工事をご依頼された時は完成前に必ず床の勾配や寸法を確認いただいた上で引き渡しを受けてください。



1:基礎の水平を測るときには、チャンネルを写真のように乗せて計測するとよいです。2:水平器はホームセンターなどでも購入できます。3:無料でダウンロードすることができるスマートフォンのアプリケーションもあります。4:基礎が歪んでいると写真のように物置に歪みが生じて非常に危険です。

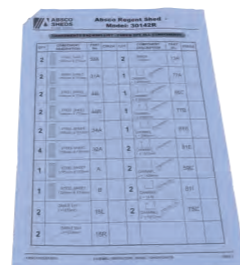


2つのポイント Point 2



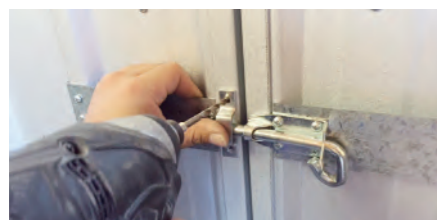
部材チェック

本体パネルに同梱されているマニュアル(英字)に部材のチェックリストがあります。作業前に必ず確認を行いましょ。パネルは鉄で、見た目よりも重量があります。部材の確認は必ず2名以上で、軍手を着用して行いましょう。



フロントエントリーのロゴパーツ

フロントエントリーシリーズには、屋根に取り付けるロゴパーツが入っています。膨らみのある部分が表です。折り曲げて屋根に取り付けますが、女性でも手で折り曲げることができます。



カンヌキの受け皿

カンヌキの受け皿部分は各品番ごとに必要な枚数入っています。取り付け時にはチャンネルに穴を開けてビス止めします。カンヌキがスライドしやすい様、チャンネルに取り付ける部材の真ん中のビス穴にはビス止めをしません。



開封後すぐに部材の確認をしましょう。

組立前に必ずすべての部材が揃っているかチェックしてください。チェックリストは本体のブルーの箱の中の「組立説明書」の3、4ページ目です。パネルの数量確認は2名以上で行って下さい。部材チェックを行ってから人材確保を行うようにしてください。



カンヌキ(Door PAD BOLT)

カンヌキは1枚扉の品番には1個、2枚扉の品番には3個入っています。2枚扉の品番にはドアの鍵部分の他に、扉の裏に上下取り付けることができます。ここに取り付けることで扉がガタガタするのを防ぎます。また、扉の裏下部のカンヌキは基礎の隙間に落として固定します。



本体のビス

本体用のビスは各品番ごとに必要個数が同梱されています。組立説明書を確認しながら取り付けていきましょう。

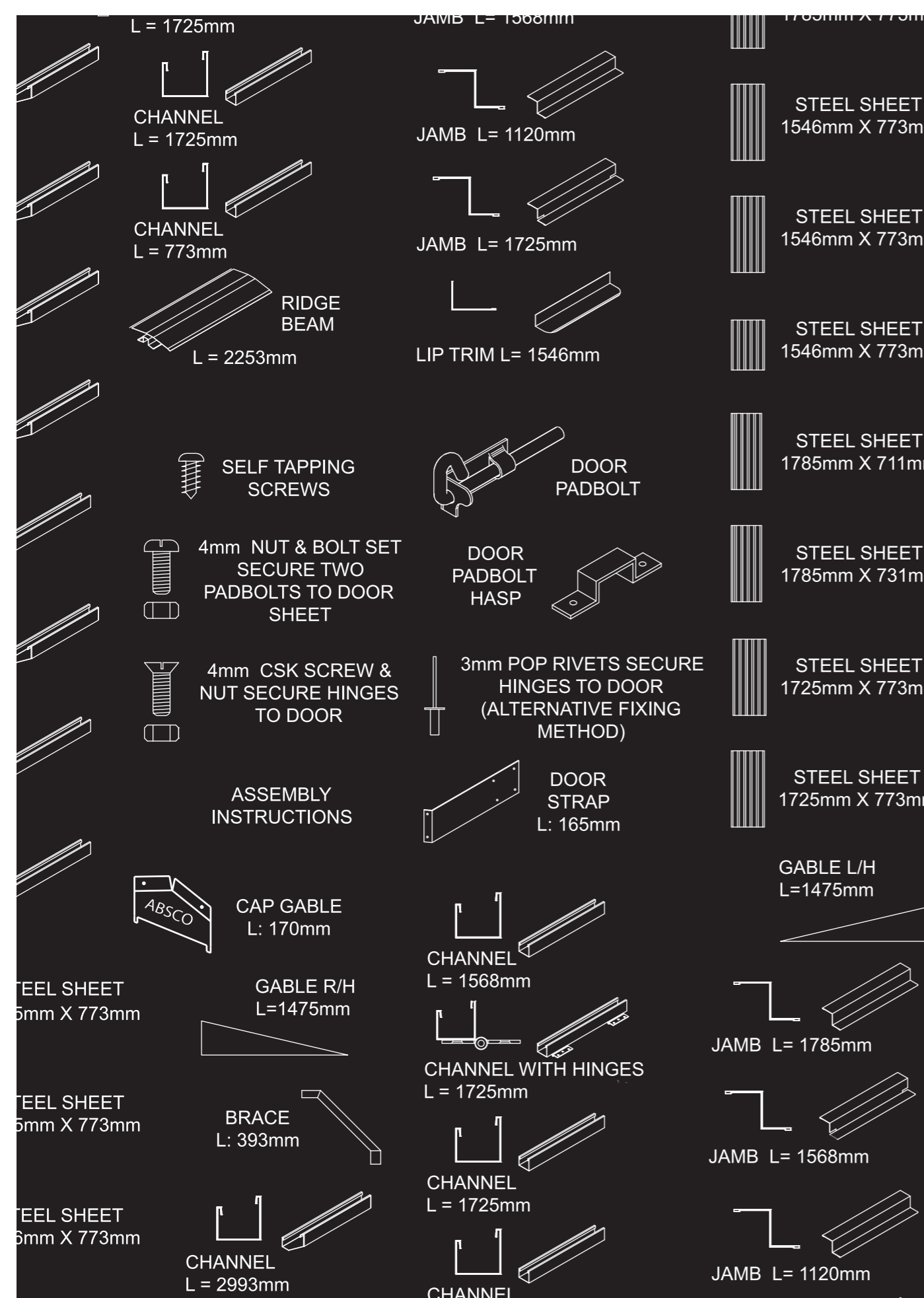
ABSCOのビス:鉄



リベット

ドアの蝶番はリベットもしくはビスのどちらかを使用して固定します。リベットを使用することでビスの頭が収まり、見た目も綺麗になります。ドアの取り付けをリベットで行う場合に必要になるリベッター(工具)はカートからご購入可能です。





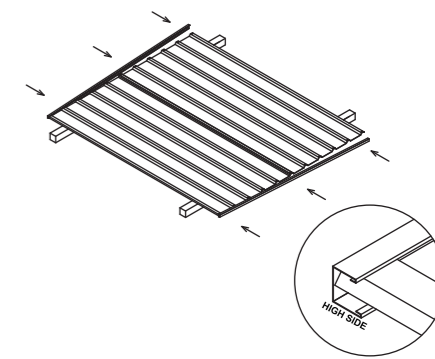
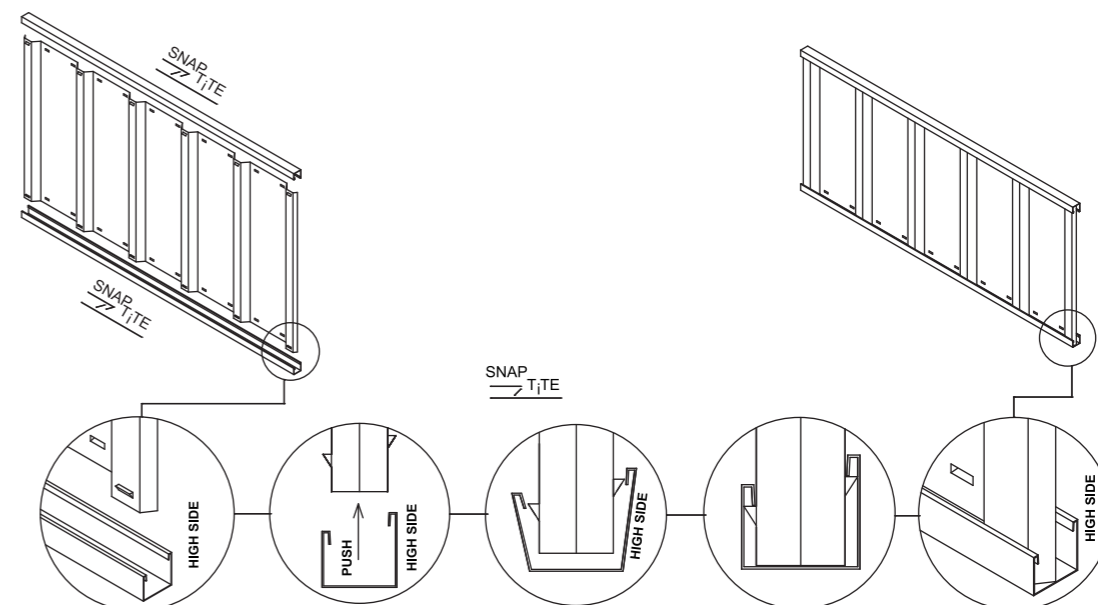
ジョイント工程

4種の部材の組み合わせで完成

高張力鋼を使用した本体パネルとJ型のチャンネルというわずかな部材を使用して大きな物置を組み立てていきます。

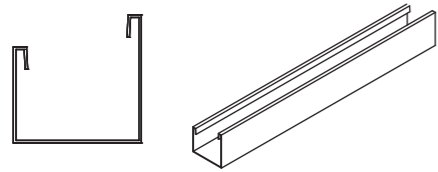
パネルの上下にチャンネルをはめ込んでいくSNAPTITEシステムを使用して組み立てていきます(下図)。この作業を繰り返すことで使用するビスの数を大幅に削減し、作業時間を短縮することができます。「諦めがち」だった物置の組み立てを、ご自身で「やれるかも」と思わせてくれます。3種類のチャンネルに本体パネルを加えた4種の部材で大きな物置も完成していきます。各部材には部材番号が印字されていますので、組立説明書を見ながら迷わず組み立てていくことができます。その反面、全く同じに見えるチャンネルでも、穴(Pre-punched holes)の位置が異なりますので、マニュアル通りに作業をしていくことが大切です。プロの職人さんは、2時間程度で組み立てることが出来ます。そのスピードの理由は、部材番号ではなくチャンネルの穴を見てどこにつけるものか判断し、本体パネル(STEEL SHEET)とチャンネルの組み合わせを間違えることなく取り付けしていくからです。

詳しくは後記しますが、チャンネルやパネルの穴の位置を理解することでプロの職人さんなみにチャンネルをサーッと識別できるかもしれません。でも開封直後の資材確認は最も重要な工程です。省略はしない様お願いします。



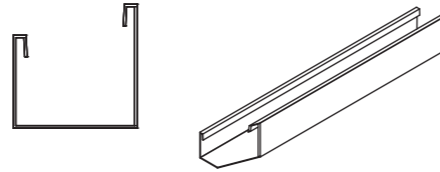
主要金物の種類 CHANNEL / JAMB / LIP

ノーマル
(チャンネル)



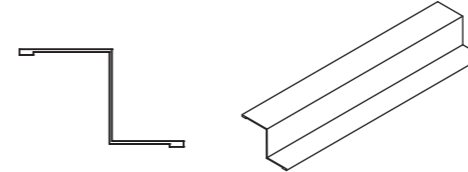
ノーマルなチャンネルです。表と裏で長さが違うので、「Jチャンネル」と呼ばれることもあります。基本的には長い方が内側に入りますが、本体の組立説明書でチャンネルの向きを必ず確認しながら施工しましょう。ドア枠部分にも使用されますが、前後を逆さにして^{くつずり}沓摺部分にもなります。

カット
(チャンネル)



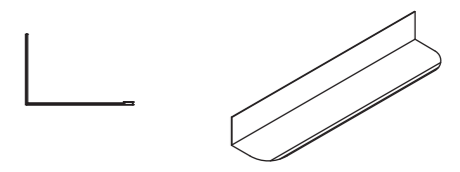
端が斜めにカットされているチャンネルは、主にコーナー部分にあたります。物置の正面の壁上下と背面の壁上下に使用します。

ドア用開口枠とドア本体の補強
(ジャム)



ドア開口の枠は4方向。型枠ジャムを直接パネルへ取り付けます。上枠はチャンネルとの組み合わせ。下枠は2つのチャンネルを使います。

はな端
(リップ)



屋根に付ける金物をリップといいます。L字で片側が丸みを帯びています。こちらの取り付けはそれ程難しくはありませんが、組立説明書で施工の手順を確認しておくことをおすすめします。



穴の位置

チャンネル・パネル

ユーロ物置®のチャンネルやパネルにはビス穴があいています。しかし、各チャンネルやパネルはビス穴の位置が異なります。部材ナンバーで組立をして頂ければ問題はありませんが、ここではチャンネルのビス穴の位置について少し解説をしたいと思います。チャンネルのビス穴の場所や、種類などの位置にどんなチャンネルが付くのか、頭に入れておくだけでも作業がスムーズになるかもしれません。

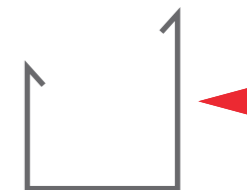
基本的にはチャンネルの長い部分が内側になるように設置しますが、**ドアの両サイドのチャンネルだけは長い方が外側になるように設置します。**

全ての穴を使う訳ではありませんので、組立説明書を見ながら施工してください。

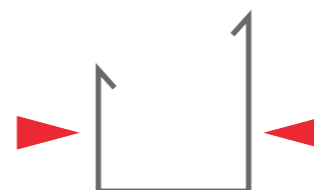
①穴のないチャンネル



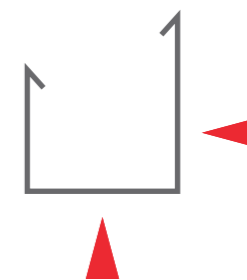
②長い方にだけ穴



③長い方と短い方に穴



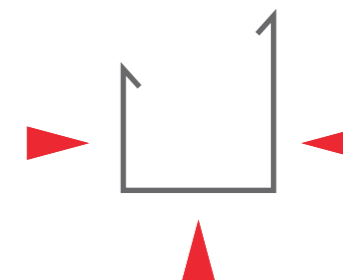
④長い方と底に穴



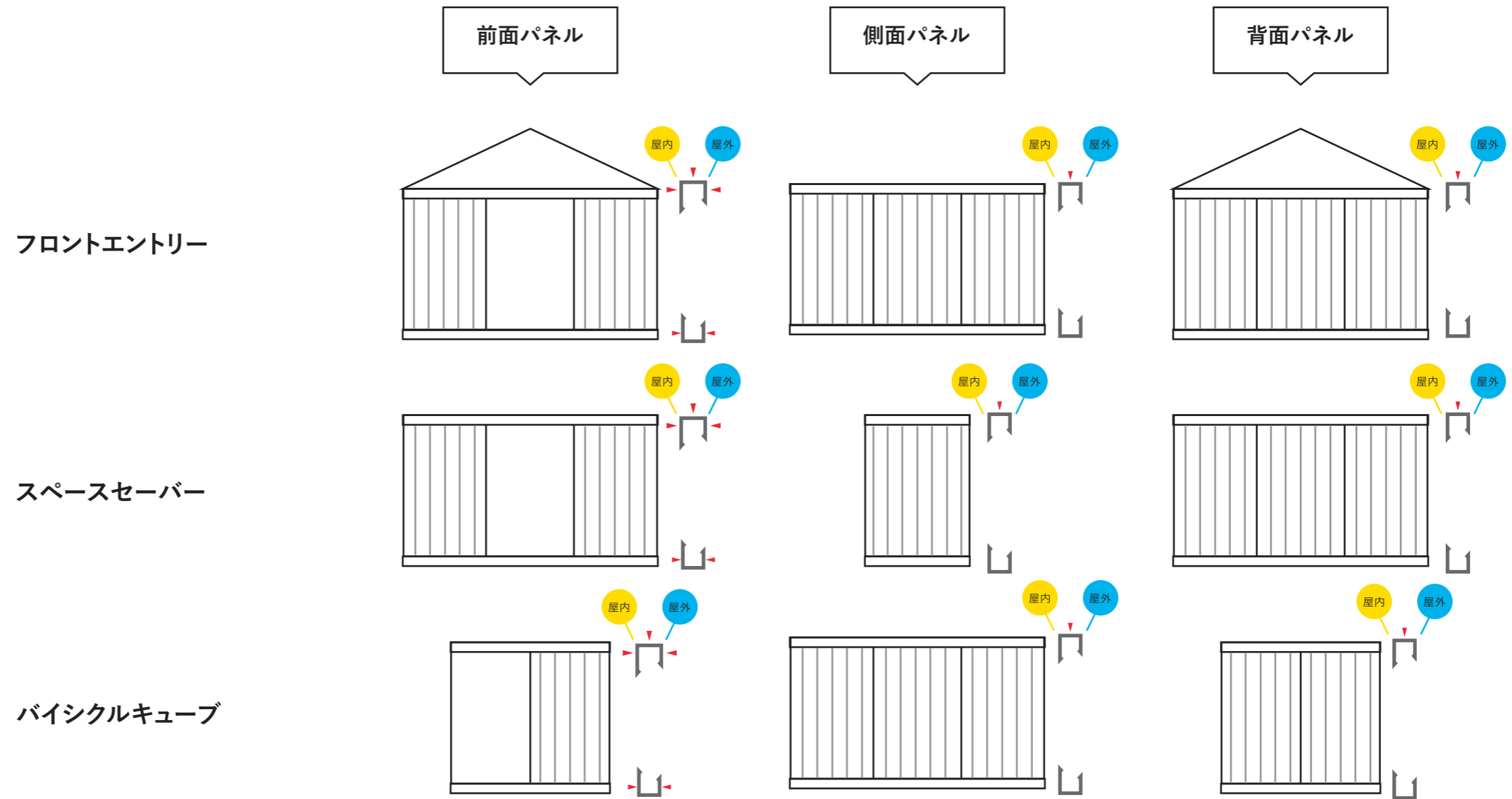
⑤底にだけ穴



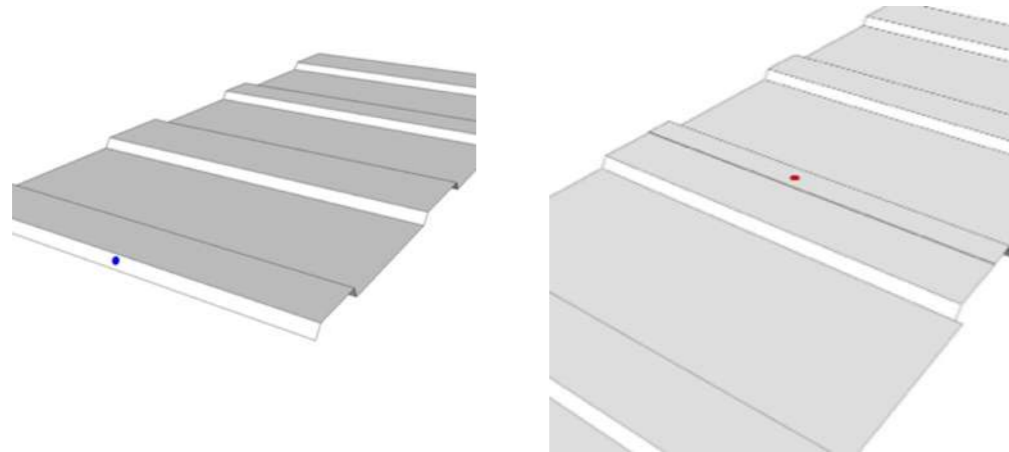
⑥全てに穴



例えば、こんな風に付きます。



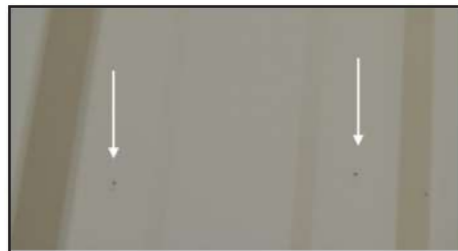
パネルの穴には2つの意味があります



コーナーをビス止めするための穴

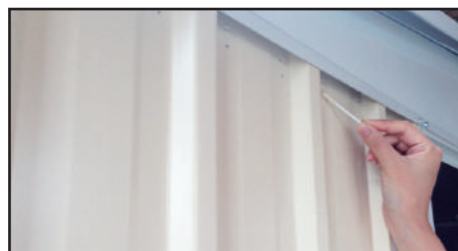
より広い壁を作るための穴

スナップタイトの爪の跡



壁板が何枚も重ねて梱包されていますので、各板にあるSNAPTITEの爪が接触して、表面の塗装が落ちています。ジंकローム錆止め部分はこの塗料の下にありますので、この傷から国内でも海外でもサビ類は発生しません。また完成した時にはほとんど気になりません。以上の見地より、重量物をコンパクトに梱包して、運搬を可能にする方向に重きをおいた考えです。

別途タッチアップ材サポートあり



傷が気になる方には、タッチアップ材のサポートがあります。タッチアップ材を綿棒に少量取り、傷の上から塗装することで傷を修復することができます。



1

より広い壁を作る時は、写真のようにパネルの穴を重ねます。

2

穴がズレている時は少しパネルを持ち上げると穴が合います。

3

コーナーの穴です。

4

コーナーの穴は写真のようにパネル同士を合わせてビスでとめます。

組立開始

START 前面パネル

FRONT PANEL



1: 前面パネルの真ん中はドアパネルが付くのであいています。ドアは幅750mmが1枚~2枚入ります。壁頂部と底部のチャンネルとドア枠になるジャムを一緒に組み立てるのがポイントです。



2: ドア下部分のチャンネルの重ね方です。1枚扉も2枚扉も、ドア周りの作業は同じです。



3: プロはチャンネルのビス穴の持つ意味をよく理解しています

Professional work (プロの作業)

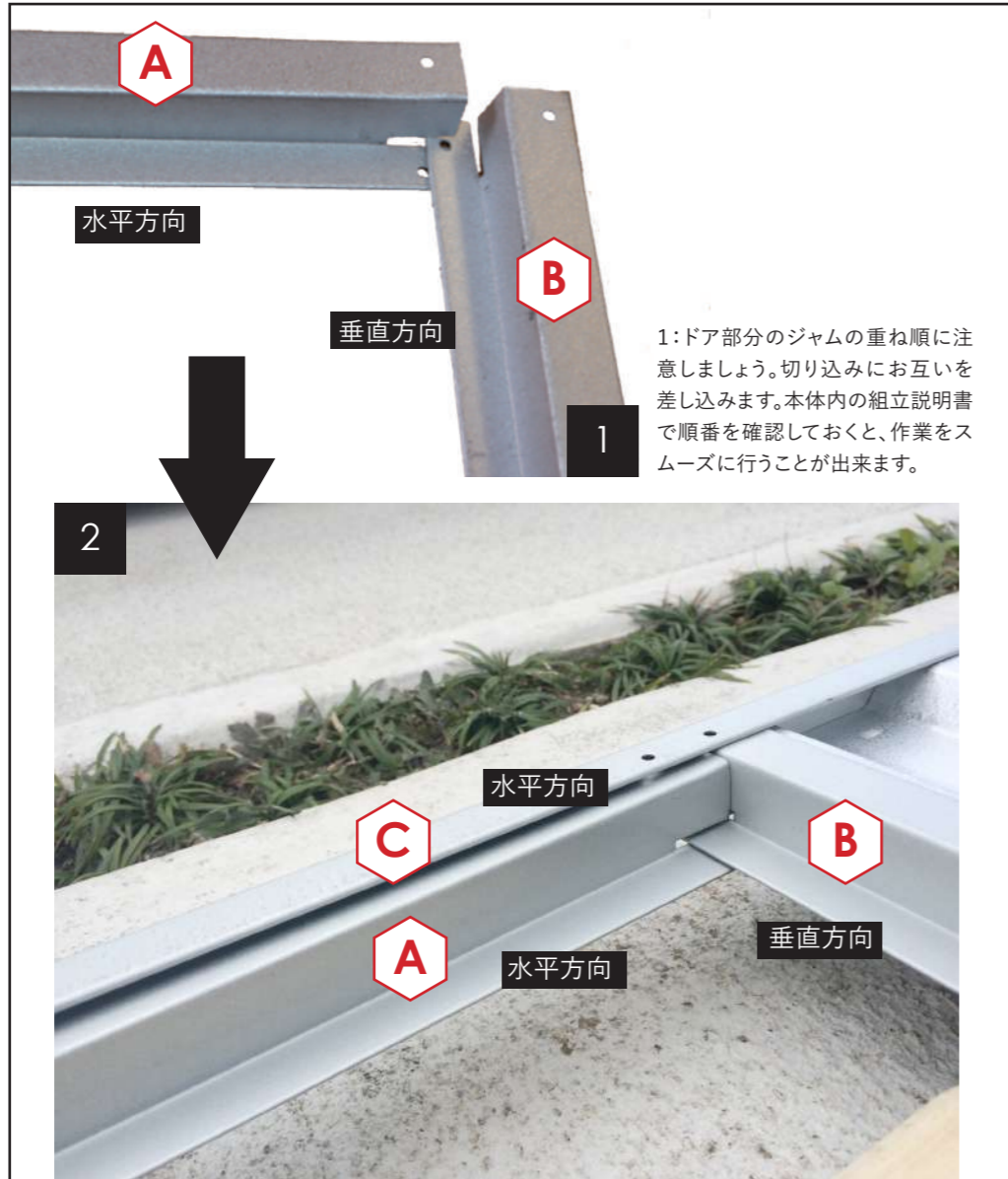
- チャンネルを手のひらで叩くようにして固定します。SNAPTITEシステムです。
- 最初に手がけるパネルは、ドアを囲むパネルにします。多量のチャンネルを使いこなす事になり、部材の識別選択力が向上。以降の作業のスピードアップにつながります。
- チャンネルだけではなく、ジャムでドア枠も作ります。この部分はすこしコツがありますが、ドア枠部分のチャンネル組み合わせ方を知っているだけで、作業が大きくはかどります。



4, 5: チャンネルの長さや穿孔の位置を整理して記憶していると、SNAPTITEの作業をスピーディーに行うことができます。

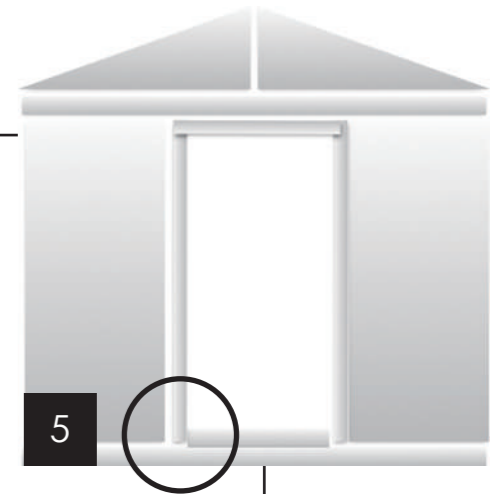
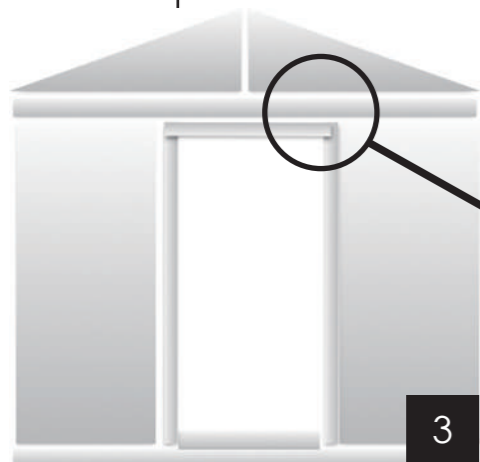
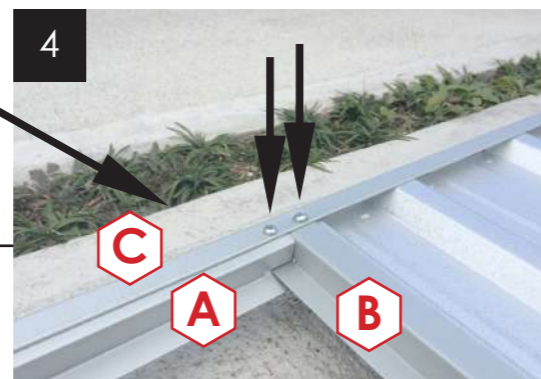


FRONT PANEL

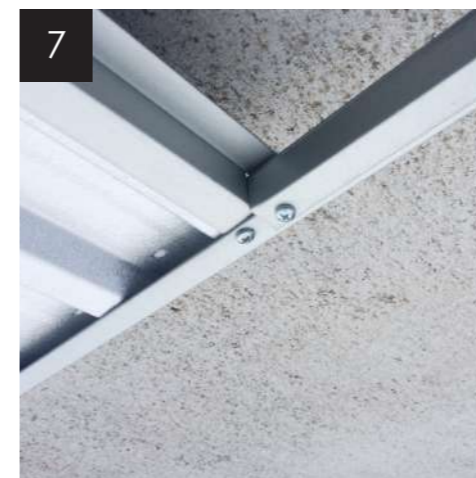


1: ドア部分のジャムの重ね順に注意しましょう。切り込みにお互いを差し込みます。本体内の組立説明書で順番を確認しておく、作業をスムーズに行うことができます。

2:3の部分の拡大写真です。入り口の上部のチャンネルの重なり方が分かります。3本のチャンネル・ジャムが重なる部分ですが、上部では水平方向の長いチャンネル(C)が前面に来るようにはめ込みます。4:接合した写真です。

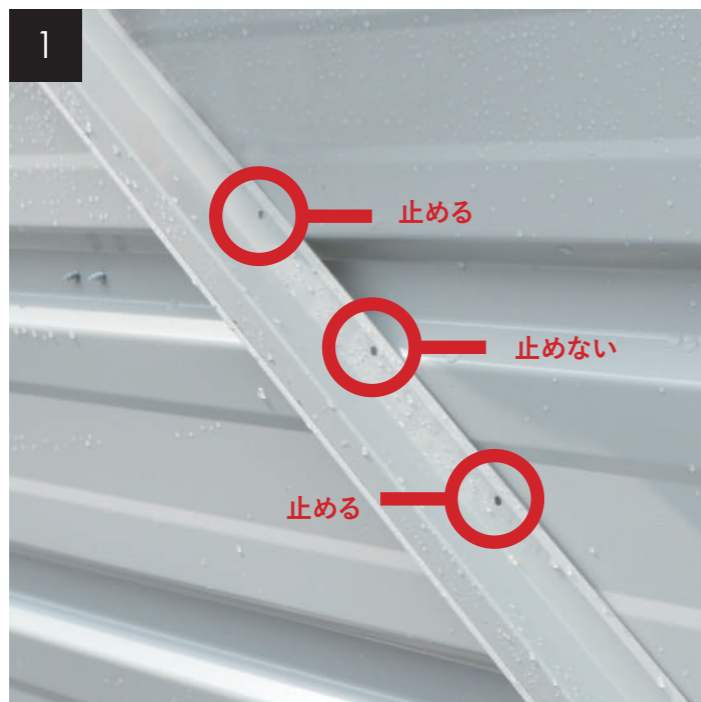


5、6: ドアの4方向の枠のうち、ドアの下枠(沓摺りと呼ばれる部分)は、間口の幅に相当するチャンネルを上下逆さにし、ドアの開口長さに相当するチャンネルを重ねて設置します。写真はその重ね方を示しています。この工程では2本のチャンネルとドア枠用の1本のジャムのビス穴を合わせてからビス止めします。



7: 重なり順を確認したら、ビスでとめていきましょう。この時、2本のチャンネルと1本のジャムの穴を合わせるのに少し苦労しますが、大きなズレがない限りは上からビス止めてしまってもかまいません。怪我のないよう、必ず軍手を着用して作業を行いましょう。

ドアパネル



1: ドアの裏面は穴のあいたジャムで固定します。パネルの裏部分の凸の箇所に穴がくるところにのみ、ビスを止めていきます。重なりが微妙な箇所は避けましょう。

2: 写真では物置の立ち上げ後にドアを固定していますが、マニュアルでは前面パネル組立時にドアを付けてから立ち上げています。どちらの方法でも問題はありませんが、初めて組立を行う方はマニュアル通りに組み立てることをおすすめします。ヒンジ(蝶番)はあらかじめドアの枠を作るチャンネルに固定されています。そのヒンジを前面パネルのチャンネルに固定します。リベッターにリベットを差し込みヒンジに合わせ、リベッターを握るようにします。「ガチッ」と音がしたら止まった合図。ヒンジ部分はリベット以外に通常のビスも使用できます。



(リベッターはカートからご購入可能)



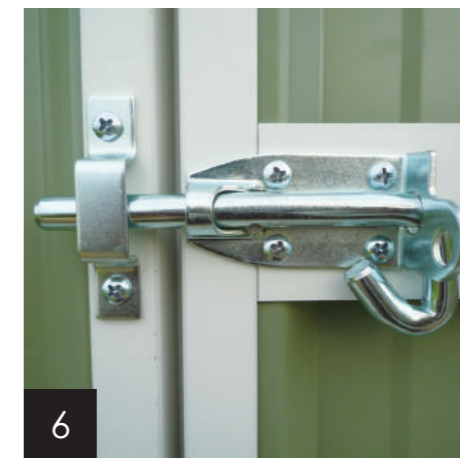
3: ドア裏側のジャムの下部、上部はドアパネルのチャンネルに差し込みましょう。



4: ドアパネルの裏側の写真です。コーナー部分のビスは止めません。ここを止めてしまうと、ドアの閉まりが悪くなってしまいます。必ずチェックしておきたいポイントの一つです。



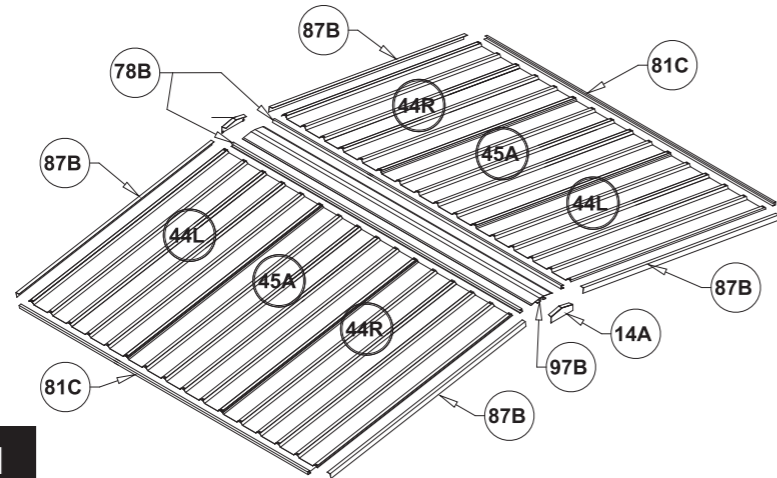
5: インパクトドライバーはホームセンターでレンタルもしています。その他の工具もレンタルサービスがあるようですので、お近くのホームセンターにご相談いただくのもいいかもしれません。



6: カンヌキは事前につけておくとなんか楽になります。

屋根パネル

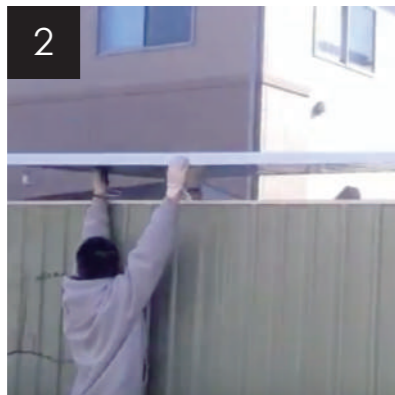
ROOF PANEL



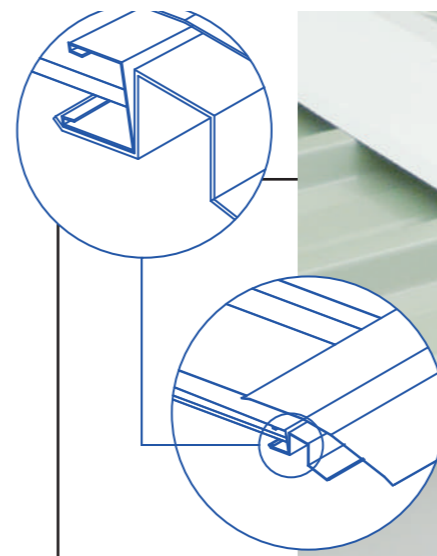
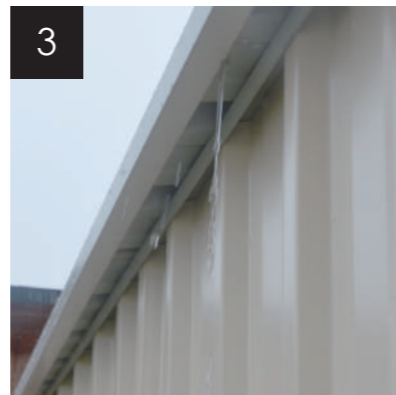
1

1: 組立前に屋根のパーツの配置を確認しておくことで作業が進めやすいです。屋根パネルは真ん中の97B(リッジビームと言います)と各パネル・チャンネルの重なり方がポイントです。

2: 屋根パネルを乗せています。作業は2名以上、規模により3名以上で行いましょう。



3: 屋根パネルのチャンネルから雨水が流れ、パネルに直接雨水が接触することを防いでいます。

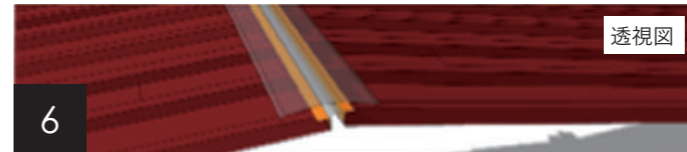


4

4: 7のすべてはめ込んだ状態の写真です。ビス止めはすべてはめ込み終わってから行うようにしましょう。



5



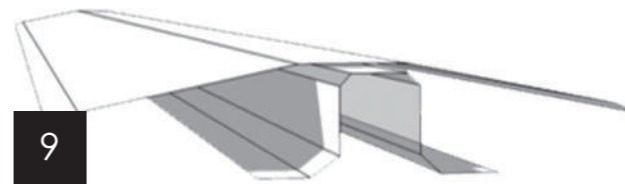
6

透視図



7

5: 屋根パネルをチャンネルに差し込みます。
6: 5の状態のリッジビームに差し込みます。
7: はめ込んだ状態です。



9

9: リッジビームです。

8: リッジビームに屋根パネルをはめ込んだらリップをつけていきます。脚立を使用して施工しましょう。



8

ROOF PANEL



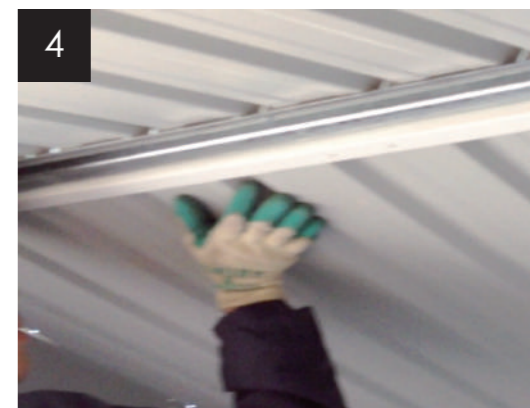
1: リッジビームや妻壁には保護シールが貼ってあります。作業をするときは、まず保護シールを剥がしてから取り付けを行いましょう。



2: 屋根パネル2枚のうち、どちらか片方にリッジビームを取り付けます。



3: リッジビームを取り付けた方の屋根パネルを先に本体パネルに乗せます。



4: もう1枚の屋根パネルを乗せていきます。この時、屋根パネルのチャンネルがリッジビームに隠れるまで押して下さい。屋根パネルと共に押し込んだチャンネルの穴とリッジビームの穴を一致させます。



5: まず表側の各隅のビス止めを行ってから、他の箇所のビスを止めていきます。

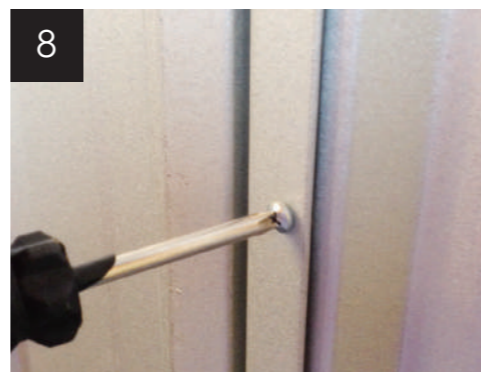


6: すべてのパネル、チャンネルをはめ込んでからビスを止めるようにしましょう。



7: 屋根パネルを接合したビスの頭は、リッジビームを持ち上げて、ネジ頭をその下に配置します。表から見るとリッジビームの下に入ります。

最終工程



8: すべてのパネル、チャンネルをはめ込んでからビスを止めるようにしましょう。



9: 完成後はネジキャップでビスの先を保護しましょう。

基礎について

ユーロ物置®の代表的な基礎はコンクリート基礎。これは左官屋さんや外構屋さんなどに依頼するのがいいでしょう。大きな物置や重量物を収納するのであれば、コンクリート基礎を選びましょう。

コンクリート基礎は季節によりコンクリートの乾き具合が異なります。しっかりと打ち合わせをすることをおすすめします。また凍結深度の指定はありませんので、ご必要な方はお住まいの自治体に確認しましょう。

基礎は下記の図面のように必ず凸状の基礎を打設します。これは屋外からの雨水の侵入を防ぐため必ずお願いしております。

アンカーは物置の組立が完了した時点で本体と床両方に止めます。物置を組み立てたら安全のため、必ずアンカーの固定を行ってください。



7:コンクリート床用のアンカー類です。アンカーボルトなどの部材が必要な本数入っています。



1: 業者様に依頼し、打設が完了したら次の手順で確認を行います。まず、写真のように物置がのる部分の長さが足りているか確認しましょう。



2: 縦方向も同様に長さの確認をします。必ず25mm以上は設けるようにして下さい。



3: 写真のようにメジャーを当て、基礎の対角を測ります。対角線上に測った時の長さが同じであれば、問題ありません。誤差は1~2mm程度です。



4: 水平器で水平を確認しましょう。水平器がない場合は無料のアプリケーションを使用しましょう。基礎が水平でないと物置が歪んで危険です。



5: これで基礎は完成です。この後、本体の組立に入っていきます。



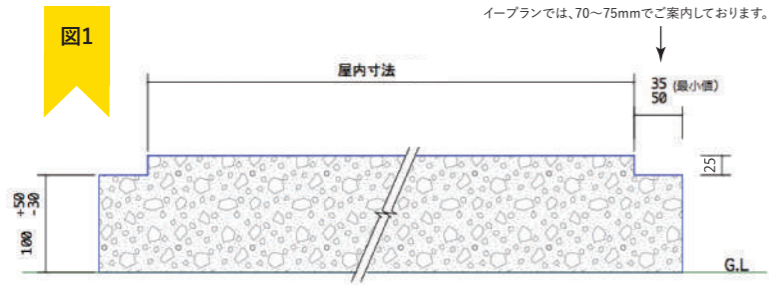
6: 重量物を収納する場合は必ずコンクリート基礎で施工を行うようにしてください。



コンクリート基礎

※このコンクリート基礎は敷地境界フェンスからわずかに20cm程度の位置に設置されている事例です。基本的には背面のアンカーボルトを設置するための作業スペースが必要です。敷地境界から50cmの離隔距離が必要と言われてはいますが、お住まいの地域独自の建築協定や条例がありますので必ず行政機関にご確認ください。

基礎断面図

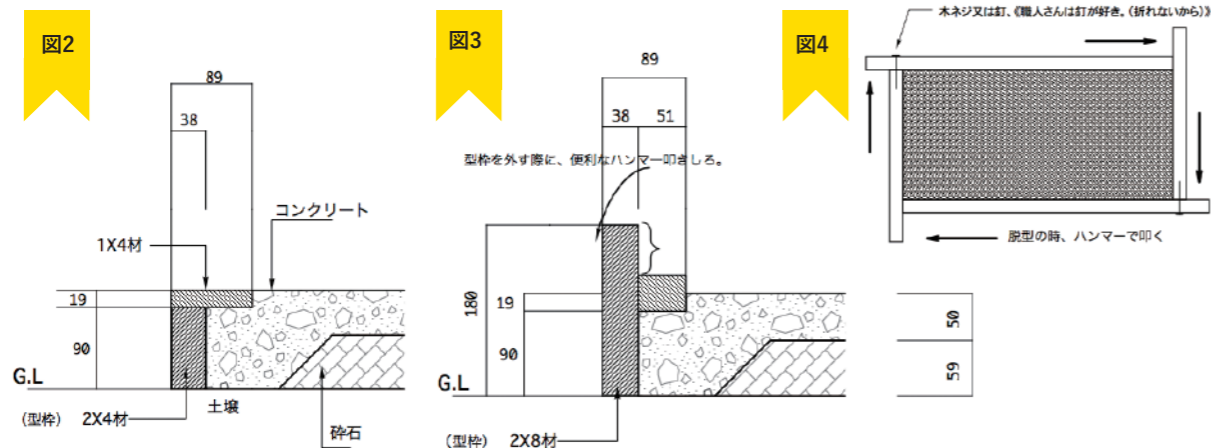


※屋内寸法(基礎上段寸法)は少し小さめに施工することをおすすめします。

基礎床の高さをご参考値です。(上段の25mmは維持してください)。図-2,3の様に型枠を工夫すると段のある基礎床を一気に作ることができます。脱型:基礎床を上から見たのが図-4です。2x4材などをはみ出して型枠を作る、図-3の様に、少し背の高い2x4材にするなどの方法もあります。一方で最初は平らな基礎にしておいて、厚さ25mmのモルタルで仕上げる方法もあります。

基礎に段をつけるための型枠

(市販の2x4材で作る)



職人さんに教わったこと

型枠作りのコツ

- ・型枠を外すことを考えて作ること。
- ・図のように厚みのある木材の木口の釘は抜け易いので、脱型時に役立つ。
- ・電動ドライバーがあれば、木ネジを使うのも方法。
- ・外すときはコンクリートではなく木を叩く。
- ・碎石は出来るだけ小さいものを使う。大きいと欠けやすくなる。
- ・基礎(下段)は大きめに作って、欠けても問題が少ないようにするのも方法。
- ・欠けてしまった場合は補修するほかない。

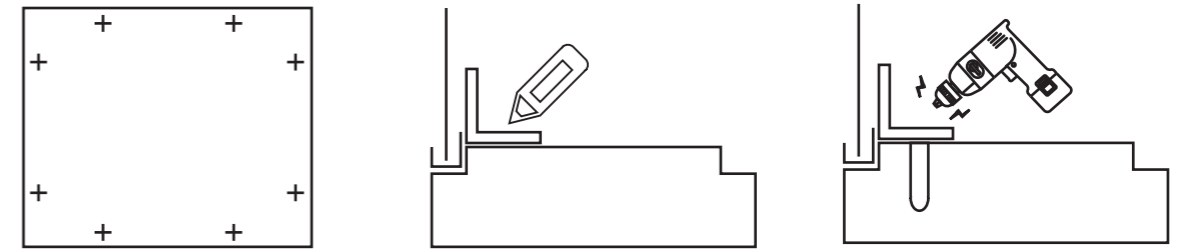
コンクリートが欠けずに綺麗に外すには
・白くなるまで乾燥してから外すのが一番いい。

上段も含めて一度に作る場合

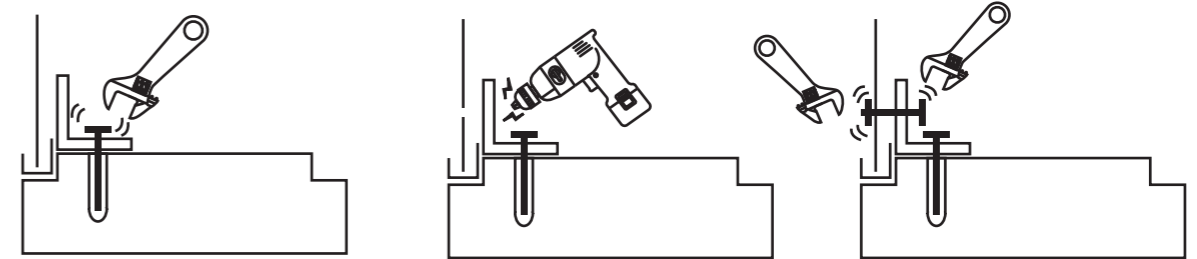
- ・水のアバタ、空気のアバタは出来て当たり前。仕方ないし、本体チャンネルの下になり、本体が完成したらあまり気にならないので、削ったり塗り足したりはしないほうがいいと思う。

平行四辺形、台形にならないようにするには
・対称の対角線の長さが一致すれば矩形(誤差は3mm以下)

アンカーの打ち方

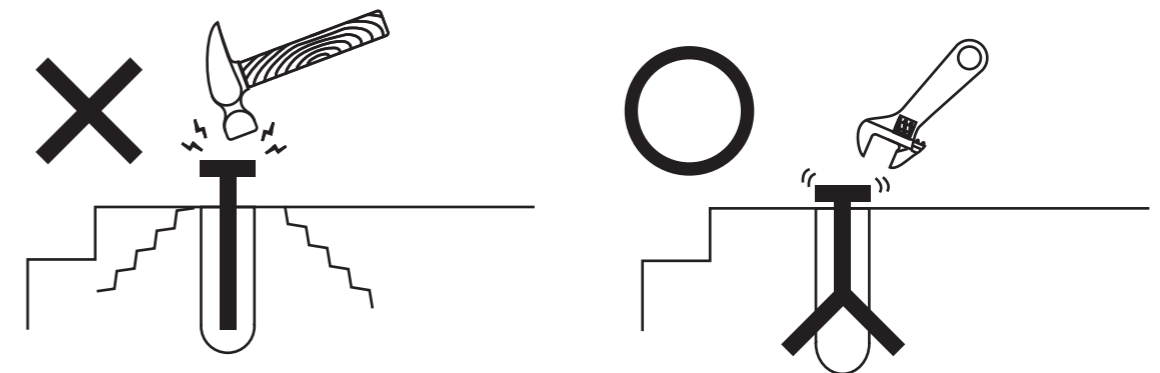


- 1 まず、組立説明書の最終ページのアンカーの取り付け位置を確認して下さい。
- 2 L字金物を基礎に置き、ペン等で印を付けます。
- 3 印を付けた部分にまずドリルで穴を開けます。



- 4 アンカーボルトを差し込み、しっかりと締めます。
- 5 今度はパネルの印を付けた部分にドリルで穴を開けます。
- 6 外側からボルトを差し込み、締めます。内側からもしっかりと締めて完了です。

ご注意事項

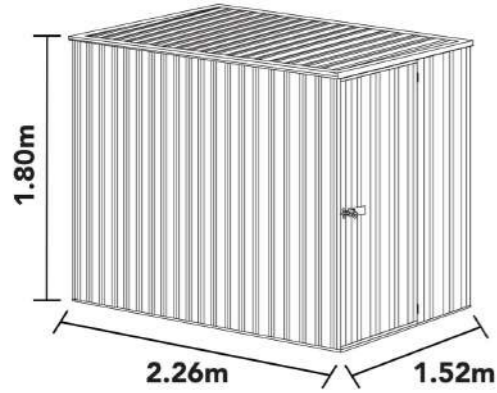


ドリルで穴を開ける際に、穴の深さが浅く、ボルトをトンカチ等で叩いてしまうとコンクリートが割れてしまいます。また、コンクリートが十分乾燥していないと割れやすいです。

ドリルで穴を開ける際に、穴の深さを十分あげ、ボルトを締めるようにして止めるとコンクリートは割れません。

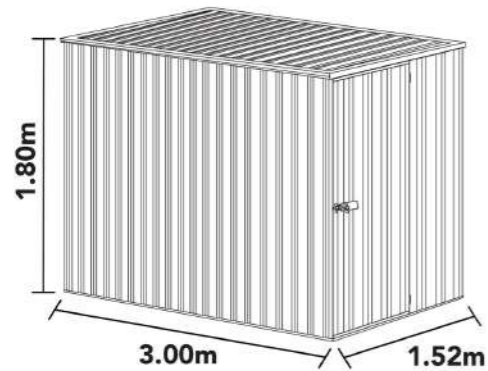
BICYCLE CUBE

1523SQ1



本体寸法	外法寸法:W1520mm×D2260mm 屋内寸法:W1480mm×D2220mm 頂部高:1800mm パネル高さ:1785mm 開口寸法:約W750mm×H1725mm 広さ:3.44m ² :2.08畳 ドア枚数:1枚
基礎寸法	基礎上段寸法:W1480mm×D2220mm ※上段寸法は小さめに施工することをおすすめします。 基礎下段寸法:W1630mm×D2370mm
素材	スチール(ジंकローム防錆処理)
必要人数	2人以上
カラー	シルバー

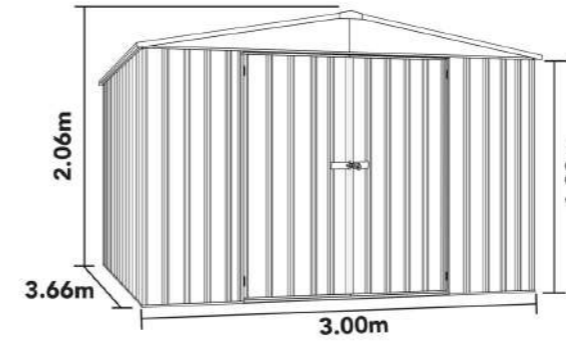
1530SQ1



本体寸法	外法寸法:W1520mm×D3000mm 屋内寸法:W1480mm×D2960mm 頂部高:1800mm パネル高さ:1785mm 開口寸法:約W750mm×H1725mm 広さ:4.5m ² :2.76畳 ドア枚数:1枚
基礎寸法	基礎上段寸法:W1480mm×D2960mm ※上段寸法は小さめに施工することをおすすめします。 基礎下段寸法:W1630mm×D3110mm
素材	スチール(ジंकローム防錆処理)
必要人数	2人以上
カラー	シルバー

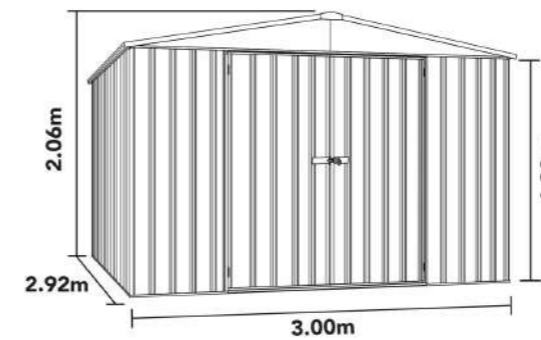
FRONT ENTRY

3037F2



本体寸法	外法寸法:W3000×D3660mm 屋内寸法:W2960×D3620mm 頂部高:2060mm パネル高さ:1785mm 開口寸法:約W1500×H1725mm 広さ:11.1m ² :6.65畳 ドア枚数:2枚
基礎寸法	基礎上段寸法:W2960mm×D3620mm ※上段寸法は小さめに施工することをおすすめします。 基礎下段寸法:W3110mm×D3770mm
素材	スチール(ジंकローム防錆処理)
必要人数	2人以上
カラー	シルバー、若草、クリーム、ディープオーシャン、 ウッドランドグレー

3029F2



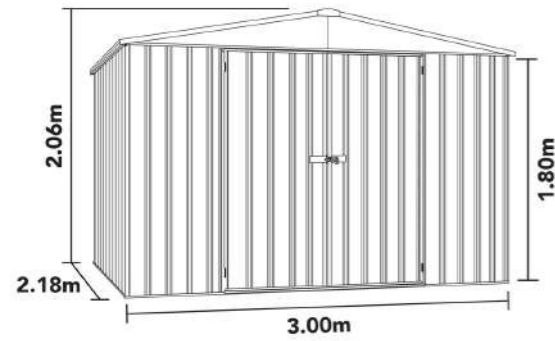
本体寸法	外法寸法:W3000×D2920mm 屋内寸法:W2960×D2880mm 頂部高:2060mm パネル高さ:1785mm 開口寸法:約W1500×H1725mm 広さ:8.76m ² :5.31畳 ドア枚数:2枚
基礎寸法	基礎上段寸法:W2960mm×D2880mm ※上段寸法は小さめに施工することをおすすめします。 基礎下段寸法:W3110mm×D3030mm
素材	スチール(ジंकローム防錆処理)
必要人数	2人以上
カラー	シルバー、若草、クリーム、ディープオーシャン、 ウッドランドグレー

※本体は重量があるため、配送時にパネルに細かいキズが発生いたします。
※ご注文前に必ずご承諾事項をご確認ください。

※本体は重量があるため、配送時にパネルに細かいキズが発生いたします。
※ご注文前に必ずご承諾事項をご確認ください。

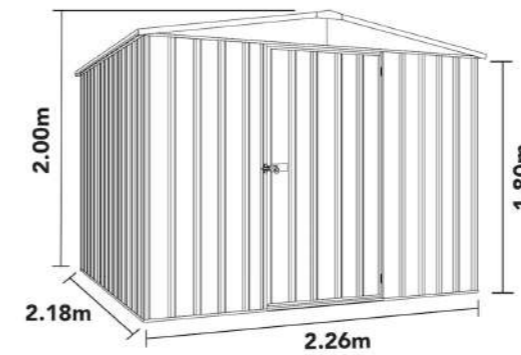
FRONT ENTRY

3022F2



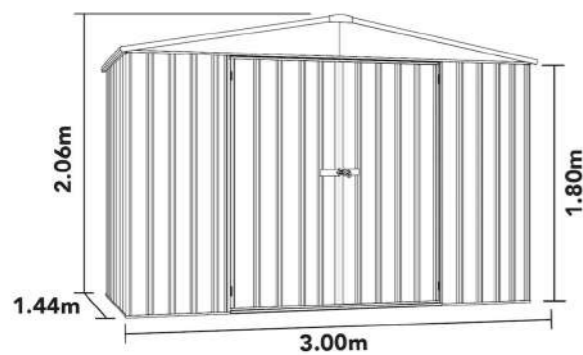
本体寸法	外法寸法: W3000×D2180mm 屋内寸法: W2960×D2140mm 頂部高: 2060mm パネル高さ: 1785mm 開口寸法: 約W1500×H1725mm 広さ: 6.54m ² : 3.96畳 ドア枚数: 2枚
基礎寸法	基礎上段寸法: W2960mm×D2140mm ※上段寸法は小さめに施工することをおすすめします。 基礎下段寸法: W3110mm×D2290mm
素材	スチール(ジンクローム防錆処理)
必要人数	2人以上
カラー	シルバー、若草、クリーム、ディーブオーシャン、 ウッドランドグレー

2322F1



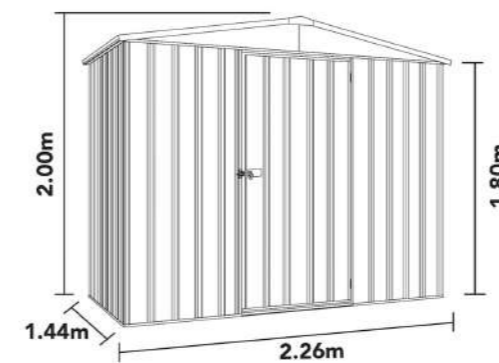
本体寸法	外法寸法: W2260mm×D2180mm 屋内寸法: W2220mm×D2140mm 頂部高: 2000mm パネル高さ: 1785mm 開口寸法: 約W750mm×H1725mm 広さ: 4.93m ² : 2.99畳 ドア枚数: 1枚
基礎寸法	基礎上段寸法: W2220mm×D2140mm ※上段寸法は小さめに施工することをおすすめします。 基礎下段寸法: W2370mm×D2290mm
素材	スチール(ジンクローム防錆処理)
必要人数	2人以上
カラー	シルバー、若草、クリーム、ディーブオーシャン、 ウッドランドグレー

3014F2



本体寸法	外法寸法: W3000×D1440mm 屋内寸法: W2960×D1400mm 頂部高: 2060mm パネル高さ: 1785mm 開口寸法: 約W1500×H1725mm 広さ: 4.32m ² : 2.62畳 ドア枚数: 2枚
基礎寸法	基礎上段寸法: W2960mm×D1400mm ※上段寸法は小さめに施工することをおすすめします。 基礎下段寸法: W3110mm×D1550mm
素材	スチール(ジンクローム防錆処理)
必要人数	2人以上
カラー	シルバー、若草、クリーム、ディーブオーシャン、 ウッドランドグレー

2314F1

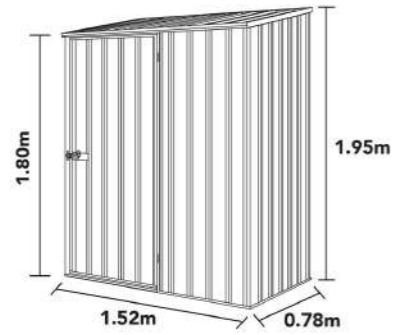


本体寸法	外法寸法: W2260mm×D1440mm 屋内寸法: W2220mm×D1400mm 頂部高: 2000mm パネル高さ: 1785mm 開口寸法: 約W750mm×H1725mm 広さ: 3.25m ² : 1.97畳 ドア枚数: 1枚
基礎寸法	基礎上段寸法: W2220mm×D1400mm ※上段寸法は小さめに施工することをおすすめします。 基礎下段寸法: W2370mm×D1550mm
素材	スチール(ジンクローム防錆処理)
必要人数	2人以上
カラー	シルバー、若草、クリーム、ディーブオーシャン、 ウッドランドグレー

※本体は重量があるため、配送時にパネルに細かいキズが発生いたします。
※ご注文前に必ずご承諾事項をご確認ください。

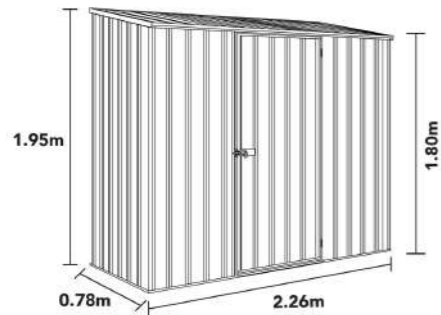
SPACE SAVER

1508K1



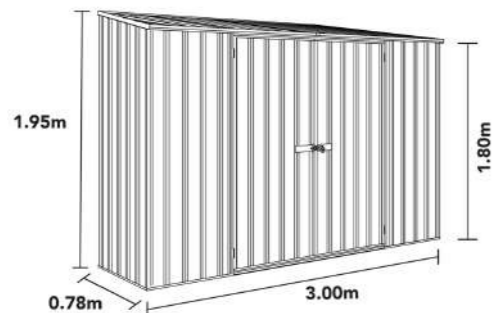
本体寸法	外法寸法:W1520mm×D780mm 屋内寸法:W1480mm×D740mm 頂部高:1950mm パネル高さ:1785mm 開口寸法:約W750mm×H1725mm 広さ:1.19m ² :0.72畳 ドア枚数:1枚
基礎寸法	基礎上段寸法:W1480mm×D740mm ※上段寸法は小さめに施工することをおすすめします。 基礎下段寸法:W1630mm×D890mm
素材	スチール(ジンクローム防錆処理)
必要人数	2人以上
カラー	シルバー、若草、クリーム、 ディーブオーシャン、ウッドランドグレー

2308K1



本体寸法	外法寸法:W2260mm×D780mm 屋内寸法:W2220mm×D740mm 頂部高:1950mm パネル高さ:1785mm 開口寸法:約W750mm×H1725mm 広さ:1.76m ² :1.07畳 ドア枚数:1枚
基礎寸法	基礎上段寸法:W2220mm×D740mm ※上段寸法は小さめに施工することをおすすめします。 基礎下段寸法:W2370mm×D890mm
素材	スチール(ジンクローム防錆処理)
必要人数	2人以上
カラー	シルバー、若草、クリーム、 ディーブオーシャン、ウッドランドグレー

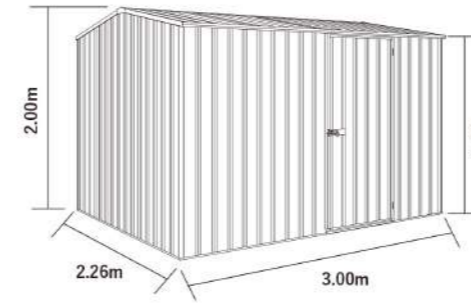
3008K2



本体寸法	外法寸法:W3000mm×D780mm 屋内寸法:W2960mm×D740mm 頂部高:1950mm パネル高さ:1785mm 開口寸法:約W1500mm×H1725mm 広さ:2.34m ² :1.42畳 ドア枚数:2枚
基礎寸法	基礎上段寸法:W2960mm×D740mm ※上段寸法は小さめに施工することをおすすめします。 基礎下段寸法:W3110mm×D890mm
素材	スチール(ジンクローム防錆処理)
必要人数	2人以上
カラー	シルバー、若草、クリーム、 ディーブオーシャン、ウッドランドグレー

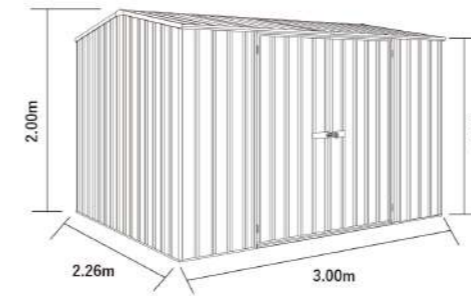
SIDE ENTRY

3023GK1



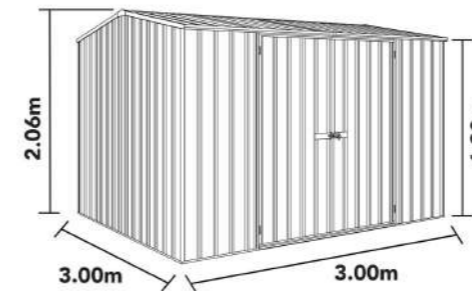
本体寸法	外法寸法:W3000mm×D2260mm 屋内寸法:W2960mm×D2220mm 頂部高:2000mm パネル高さ:1785mm 開口寸法:約W750mm×H1725mm 広さ:6.78m ² :4.09畳 ドア枚数:1枚
基礎寸法	基礎上段寸法:W2960mm×D2220mm ※上段寸法は小さめに施工することをおすすめします。 基礎下段寸法:W3110mm×D2370mm
素材	スチール(ジンクローム防錆処理)
必要人数	2人以上
カラー	シルバー、若草、クリーム、ウッドランドグレー、 モニュメント

3023GK2



本体寸法	外法寸法:W3000mm×D2260mm 屋内寸法:W2960mm×D2220mm 頂部高:2000mm パネル高さ:1785mm 開口寸法:約W1500mm×H1725mm 広さ:6.78m ² :4.09畳 ドア枚数:2枚
基礎寸法	基礎上段寸法:W2960mm×D2220mm ※上段寸法は小さめに施工することをおすすめします。 基礎下段寸法:W3110mm×D2370mm
素材	スチール(ジンクローム防錆処理)
必要人数	2人以上
カラー	シルバー、若草、クリーム、ウッドランドグレー、 モニュメント

3030GK2

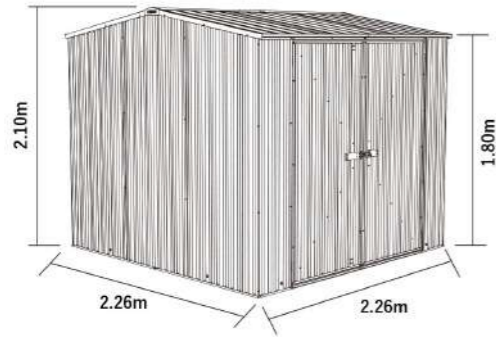


本体寸法	外法寸法:W3000mm×D3000mm 屋内寸法:W2960mm×D2960mm 頂部高:2060mm パネル高さ:1785mm 開口寸法:約W1500mm×H1725mm 広さ:9m ² :5.43畳 ドア枚数:2枚
基礎寸法	基礎上段寸法:W2960mm×D2960mm ※上段寸法は小さめに施工することをおすすめします。 基礎下段寸法:W3110mm×D3110mm
素材	スチール(ジンクローム防錆処理)
必要人数	2人以上
カラー	シルバー、若草、クリーム、ウッドランドグレー、 モニュメント

※本体は重量があるため、配送時にパネルに細かいキズが発生いたします。
※ご注文前に必ずご承諾事項をご確認ください。

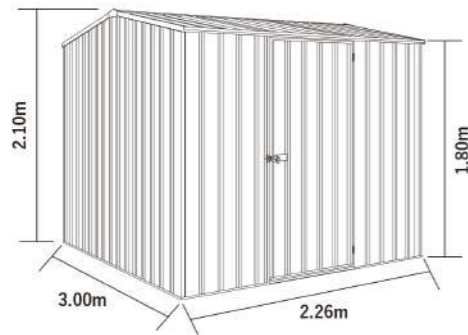
SIDE ENTRY

2323GK2



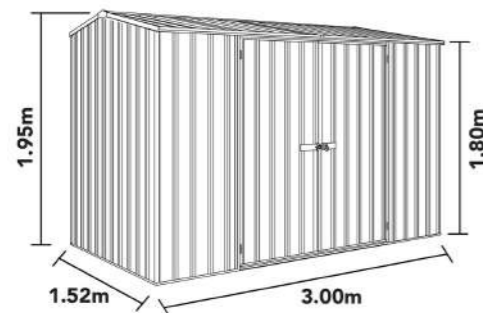
本体寸法	外法寸法: W2260mm×D2260mm 屋内寸法: W2220mm×D2220mm 頂部高: 2100mm パネル高さ: 1785mm 開口寸法: 約W1500mm×H1725mm 広さ: 5.11m ² : 3.07畳 ドア枚数: 2枚
基礎寸法	基礎上段寸法: W2220mm×D2220mm ※上段寸法は小さめに施工することをおすすめします。 基礎下段寸法: W2370mm×D2370mm
素材	スチール(ジंकローム防錆処理)
必要人数	2人以上
カラー	シルバー、若草、クリーム、ウッドランドグレー、モニュメント

2330GK1



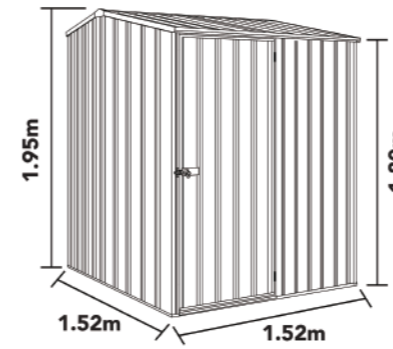
本体寸法	外法寸法: W2260mm×D3000mm 屋内寸法: W2220mm×D2960mm 頂部高: 2100mm パネル高さ: 1785mm 開口寸法: 約W750mm×H1725mm 広さ: 6.78m ² : 4.09畳 ドア枚数: 1枚
基礎寸法	基礎上段寸法: W2220mm×D2960mm ※上段寸法は小さめに施工することをおすすめします。 基礎下段寸法: W2370mm×D3110mm
素材	スチール(ジंकローム防錆処理)
必要人数	2人以上
カラー	シルバー、若草、クリーム、ウッドランドグレー、モニュメント

3015GK2



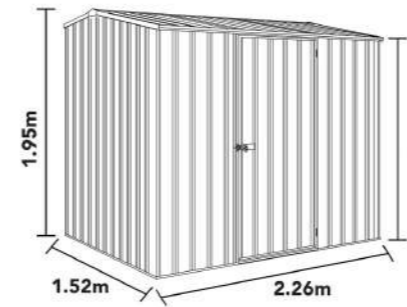
本体寸法	外法寸法: W3000mm×D1520mm 屋内寸法: W2960mm×D1480mm 頂部高: 1950mm パネル高さ: 1785mm 開口寸法: 約W1500mm×H1725mm 広さ: 4.56m ² : 2.75畳 ドア枚数: 2枚
基礎寸法	基礎上段寸法: W2960mm×D1480mm ※上段寸法は小さめに施工することをおすすめします。 基礎下段寸法: W3110mm×D1630mm
素材	スチール(ジंकローム防錆処理)
必要人数	2人以上
カラー	シルバー、若草、クリーム、ウッドランドグレー、モニュメント

1515GK1



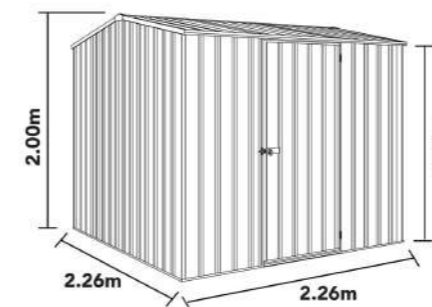
本体寸法	外法寸法: W1520mm×D1520mm 屋内寸法: W1480mm×D1480mm 頂部高: 1950mm パネル高さ: 1785mm 開口寸法: 約W750mm×H1725mm 広さ: 2.31m ² : 1.4畳 ドア枚数: 1枚
基礎寸法	基礎上段寸法: W1480mm×D1480mm ※上段寸法は小さめに施工することをおすすめします。 基礎下段寸法: W1630mm×D1630mm
素材	スチール(ジंकローム防錆処理)
必要人数	2人以上
カラー	シルバー、若草、クリーム、ウッドランドグレー、モニュメント

2315GK1



本体寸法	外法寸法: W2260mm×D1520mm 屋内寸法: W2220mm×D1480mm 頂部高: 1950mm パネル高さ: 1785mm 開口寸法: 約W750mm×H1725mm 広さ: 2.19m ² : 1.33畳 ドア枚数: 1枚
基礎寸法	基礎上段寸法: W2220mm×D1480mm ※上段寸法は小さめに施工することをおすすめします。 基礎下段寸法: W2370mm×D1630mm
素材	スチール(ジंकローム防錆処理)
必要人数	2人以上
カラー	シルバー、若草、クリーム、ウッドランドグレー、モニュメント

2323GK1



本体寸法	外法寸法: W2260mm×D2260mm 屋内寸法: W2220mm×D2220mm 頂部高: 2000mm パネル高さ: 1785mm 開口寸法: 約W750mm×H1725mm 広さ: 5.11m ² : 3.07畳 ドア枚数: 1枚
基礎寸法	基礎上段寸法: W2220mm×D2220mm ※上段寸法は小さめに施工することをおすすめします。 基礎下段寸法: W2370mm×D2370mm
素材	スチール(ジंकローム防錆処理)
必要人数	2人以上
カラー	シルバー、若草、クリーム、ウッドランドグレー、モニュメント

※本体は重量があるため、配送時にパネルに細かいキズが発生いたします。
※ご注文前に必ずご承諾事項をご確認ください。

DELIVERY

商品のお届けに関して

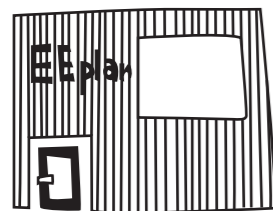


ユーロ物置®は100kg程度の重量があるタイプがほとんどです。その関係で配送日時の決定は発送時に確定致します。お約束、申し送りなどは一切お断りしております。配送到着日時の細かい擦り合わせは配送エリア管轄の西濃運輸様事務所と直接交渉頂く事になります。その際弊社から発送時にお送りする荷物の配送番号でお問い合わせください。

各パネルに緩衝材が入っておりません。細かい傷などが発生し得る事をご了解の上、ご購入ください。また、本体に重量がありますので、配送途中で梱包ダンボールが破損する場合があります。ダンボール箱は梱包部分が衝撃を受ける事で商品を守る役目を果たしています。ダンボールが破損していても補償に応じることは出来かねます。



本体は倉庫会社様より直送されます。



付属品はイープランの事務所から発送される場合もあります。



配送業者様は西濃運輸カンガルー便です。



ご連絡いただいた配送先にお届けします。

ユーロ物置®のご使用について(ガイドライン)

ABSCO SHEDSは通常の天候のために耐候性に設計されています。大雨などの極端な気象条件の場合、多少の水の侵入があります。

厳しい気象条件、大雨と強風下の突風などでは、屋根の頂点にある金物(Ridge Capping)や各パネルの接合部分、そのネジなどの固定部分などではわずかな変形を呈し、多少の水の侵入を許すことがあります。この部分は定期的にチェックしてください。

特に強風ではドア部分での被害が報告されています。ドアが解放しにくいような防護をしてください。急速な温度差により屋根部分やコンクリートゆか、壁では屋内での結露が発生します。

そもそもユーロ物置®に収納するものは芝刈り機、手押し車、庭道具などの機器などです。上記の条件のいずれかによって悪影響を受ける可能性がある家財などは、樹脂製で防水が期待できる容器に入れて置くといいでしょう。コンクリートの上に木製のスノコを置くのも方法です。

接合部分やネジ部分にシーラントを加えて、ドアにはゴム製のシールを使うなど施せばさらに耐候性を高めることができます。ネジやスライドロックなどの汎用金物の錆びが気になれば、このシーラント剤と同様、どこのホームセンターでも購入できるものばかりです。ただし、コンクリート床とユーロ物置®本体底部との間に防水シーラントを施すと却って水が排出されにくいことが懸念されますのでお勧めできません。

パネルは30年の防錆保証をしていますので、メーカーのモデルチェンジに影響されず長期間ご使用いただけます。30年防錆保証として錆びのディテールとしては表面に亀裂が入ったり、表層が膨れ上がったりした状況を言います。

ユーロ物置®は風速41m/sec程度には耐えるとされています、実際の風速はその設置されるエリアの状況で大きく変わります。つまり街中や海辺あるいは平坦な土地や山の中腹は頂上付近などで変わりますし突風もあります。設置条件などはユーロ物置®ハンドブックを参照されるのも方法です。

輸入元Eeplan®は上記及び積雪などを含む自然条件における損害についての責任を負いません。また建築基準法や地方条例、建築協定などの法令を守って設置されることをお願いいたします。

EURO SHED HAND BOOK

ユーロ物置®ハンドブック



**ABSCO
SHEDS**
So Tough. Too Easy.

ABSCO Industries

30 year written warranty
Australian made and owned
SNAPTITE Assembly = Amazing as
Engineered to with stand cycloni
(147 km/hr winds) Made from sup
Bluescope Steel Pre-punched ho
Superior wall rigidity Braced door